

ウィエトナム国市場経済化支援に係る
フォローアップ研究プロジェクト

第3巻 農業農村開発

1999年12月

JICA LIBRARY



J1157518(0)

計画投資省
ウィエトナム社会主義共和国

国際協力事業団
日本国

地 - (1)

JR

00-2

ヴィエトナム国市場経済化支援に係る
フォローアップ研究プロジェクト

第3巻 農業農村開発

1999年12月

計画投資省
ヴィエトナム社会主義共和国

国際協力事業団
日本国



1157518 (0)

目 次

農業農村開発

1 経済危機と農業：ヴェトナムへの教訓	原 洋之介 …………… 3
2 “Outline of Chapter”	Phan Doanh …………… 9
3 ヴィエトナム農業・農村発展の新方向 －JICA ヴィエトナム・フォローアップ・プロジェクトにおける論点－	泉田 洋一 …………… 27
4 “The State of the Vietnamese Rice Economy”	Nguyen Sinh Cuc …………… 51
5 “Structure of Rice Production in Viet Nam”	Le Van Minh …………… 69
6 “The State of Production and Living of Landless and Land-lacking Households in Mekong River Delta”	Nguyen The Nha …………… 83
7 “Issues of Post-Harvest in Rice Production of Viet Nam”	Nguyen Kim Vu …………… 107
8 “Rice Market in Viet Nam”	Nguyen Tien Manh …………… 127
9 “To Strengthen the Service Institutions Supporting Agriculture and Rural Areas”	Nguyen Van Tiem …………… 149
10 メコンデルタ地域カントー省における米穀経済に係る小規模調査	西谷 光生 …………… 175
11 “Distribution, Processing and Marketing of Rice in the Mekong Delta, Viet Nam”	Can Tho University …………… 197
12 “The Rural Credit Systems in the Mekong Delta, Viet Nam”	Can Tho University …………… 233
日越共同研究アカデミックス・グループメンバー ……………	259
編集委員会メンバーリスト ……………	261

総目次

第1巻 総論・産業貿易

まえがき

藤田 公郎

序文

石川 滋・Nguyen Quang Thai

概略報告

- 1 はじめに
- 2 総論
- 3 産業貿易
- 4 財政金融
- 5 農業農村開発

総論

- 1 “General Assessment of Certain Economic Issues in the Current Renovation”
Nguyen Quang Thai
- 2 経済システム改革とシナリオ作りの重要性 —中越の経験比較による考察—
石川 滋

産業貿易

- 1 “Industrial Promotion in the New International Economic Environment”
大野 健一・Pham Quang Ham
- 2 “Industrial Development of Viet Nam in the Context of Integration”
Pham Quang Ham
- 3 貿易自由化のインパクト —輸入浸透・価格変動・貿易転換の可能性—
大野 健一
- 4 “Analysis of Tariff Policies and the Path of Integration of AFTA, APEC and WTO:
Obligations of Commitments to Trade Liberalization”
Nguyen Van Chi
- 5 “Identification of WTO Inconsistent Policies”
Dao Huy Giam・Vu Quang Minh
- 6 アジア危機の貿易・直接投資関連政策に対する影響：
東アジア諸国の対応とヴェトナムの課題
木村 福成
- 7 “Viet Nam’s Textile and Garment Development Directions”

- Do Huu Hao*
- 8 ヴィエトナムにおける SME (中小企業) の特徴
- 小早川 護
- 9 ヴィエトナムの国営企業グループ：その概要と中国との比較
- 丸川 知雄
- 10 “International Merchandise Trade Statistics in Viet Nam”
- Tran Thi Hang*

第 2 巻 財政金融

序論

- 1 金融部門の現状と改革課題
- 渡辺 慎一・Le Quoc Ly
- 2 ヴィエトナムにとっての資本規制政策－東南アジアの金融危機から学ぶ教訓－
- 堀内 昭義

第 1 章 金融システムの現状と政策課題

- I - 1 “Evaluate Current Financial Conditions and Prospects of the Banks”
- Nguyen Thu Ha*
- I - 2 “Evaluation of Financial Situation of Enterprises (especially SOEs) and Factors Affected their Relationship with Banks and with the Government”
- Nguyen Duc Tang*
- I - 3 A “Influence Estimation of Vietnamese Currency Decrease on the Foreign Assets and Foreign Liabilities of Banking System and Enterprises ”
- Nguyen Thi Thu*
- I - 3 B “Impact Assessment of Vietnamese Dong’s Depreciation on US Dollar-denominated Assets and Liabilities of Banks and State Owned Enterprises”
- Do Minh Tuan*
- I - 4 A “Assessment of Objectives and Impact of the Contextual Solutions of the State Bank and the Government of Viet Nam in order to Reduce Financial Difficulties of State-owned Enterprises (SOEs) and Banks”
- Nguyen Ngoc Bao*
- I - 4 B “Assessment of the Purpose and the Influence of the Stoppag Solutions of the State Bank of Viet Nam and the Government to Minimize the Financial Difficulties of State-owned Enterprises and Banks”
- Nguyen Van Sau*
- I - 5 “Assessment of the Purposes and Effects of ad-hoc Solutions Made by the State Bank of Viet Nam to Strengthen Foreign Exchange Management”
- Chu Thi Hong Minh*
- I - 6 “Review the solution Adopted to Restore and Consolidate the Financial Sector”
- Duong Thu Huong*

I-7 “Obstacles in Setting up a Securities Market in Viet Nam”
Tran Cao Nguyen

第2章 金融セクター改革の政策研究

II-1 ヴィエトナムにおける金利政策は経済の発展段階に照応しているか
渡辺 慎一

II-2 アジア金融危機のヴィエトナム金融セクターに対する含意
外山 誠一

第3巻 農業農村開発

1 経済危機と農業：ヴィエトナムへの教訓
原 洋之介

2 “Outline of Chapter”
Phan Doanh

3 ヴィエトナム農業・農村発展の新方向
—JICA ヴィエトナム・フォローアップ・プロジェクトにおける論点—
泉田 洋一

4 “The State of the Vietnamese Rice Economy”
Nguyen Sinh Cuc

5 “Structure of Rice Production in Viet Nam”
Le Van Minh

6 “The State of Production and Living of Landless and Land-Lacking Households in the Mekong River Delta”
Nguyen The Nha

7 “Issues of Post-Harvest in Rice Production of Viet Nam”
Nguyen Kim Vu

8 “Rice Market in Viet Nam”
Nguyen Tien Manh

9 “To Strengthen the Service Institutions Supporting Agriculture and Rural Areas”
Nguyen Van Tiem

10 メコンデルタ地域カントー省における米穀経済に係る小規模調査
西谷 光生

11 “Distribution, Processing and Marketing of Rice in the Mekong Delta, Viet Nam”
Can Tho University

12 “The Rural Credit Systems in the Mekong Delta, Viet Nam”
Can Tho University

日越共同研究アカデミックス・グループメンバー
編集委員会メンバーリスト

農業農村開発

経済危機と農業：ヴェトナムへの教訓

原 洋之介

東京大学

はじめに

東南アジア地域の過去2年間の経済危機は、あらためて、健全な農業・農村部門の存在が国民経済の安定的な成長・発展にとって不可欠であることを示してくれた。東南アジア諸国の苦い経験は、ヴェトナムにも大きな教訓を与えてくれていると思われる。そこで以下、東南アジア地域の事例を通して、通貨・経済危機と農業との関連を簡単にみていくことにする。

I. 為替レートの過大評価と国内価格の変化

まず、今回の通貨危機が各国経済にもたらした影響を、国内価格へのインパクトの側面から少し統計的にみておこう。

1990年代に入って以降、アジア各国で、その通貨が過大評価気味であったことは、各国ともに卸売物価指数が（WPI）の対消費物価指数（CPI）比が低下傾向を示していたことに端的に示されている。卸売物価指数が、貿易財の価格の動向を示すのに対して、消費者物価指数は、貿易財に含まれる消費財だけでなく、各種サービス等非貿易財をも含んだ合成財価格の動向を示す。従って、この価格比は、貿易財価格対非貿易財価格としても定義される実質為替レートの不完全ではあるが簡単な代替指標といえる。その動向をみるかぎり、アジア諸国の為替レートが過大評価されていたことは明らかである。

勿論、貿易財部門にくらべて非貿易財部門の労働生産性上昇率は低いことが多いので、長期傾向としてはCPIに対して、WPIが低下していく。従って、上記の価格動向をすぐに貿易財部門の国際競争力を示す実質レートの判断指標とすることには若干の疑問がありえよう。しかし、1990年代以降というそれ程長期とはいえない期間にWPIの対CPI比に明らかな低下傾向がみられることは、やはり為替レートの過大評価傾向を示したものと理解しておくべきであろう。アジア諸国で、通貨危機以前に国内経済面で、貿易財部門が非貿易財部門に対比して相対的に不利な状態におかれていたことは、間違いない。

通貨危機発生後、いずれの国においても、WPIがCPIにくらべて急上昇を示していることがわかる。各国内でインフレーションが加速化して大きな問題となっているが、その中で国内相対価格に大きな変動が生じているわけである。この相対的価格構造の激変は、長期的にはアジア諸国内で産業部門間の資源配分に大きな影響を与えることになるだろう。

II. 為替レート切り下げの影響

為替レートの過大評価は、各国国内経済に歪んだ経済的インセンティブ distorted macro incentive を提供していた。既にみたように、為替レートの過大評価は貿易財部門を相対的に不利化し、非貿易財部門を有利化させるインセンティブを与えていた。今回通貨危機という形で短期間にすすめられることになった変動相場制移行による為替レートの切り下げは、この歪んだ国内経済インセンティブ構造を修正させ、東南アジア諸国の経済に長期的には、再度輸出生産活動を刺激して、持続的な経済成長と産業調整とを可能にする条件を作り出したといえる。

危機とは、クライシスとオポチュニティとを組み合わせた性格をもつ。つまり、危機とは長期的にみれば、新しい機会への挑戦の時期でもあるわけだ。

今回の通貨危機に連動した金融危機のなかで、金融部門・不動産部門は大きな調整を迫られている。特に不良債権に悩む銀行部門が倒産の波に洗われると、各国内での決済システムが崩壊してしまうといった危機もあるが、全体としてこれら非貿易財部門での調整は、長期的には東南アジア各国の経済に好影響を与えることが期待されている。

貿易財部門内でも、通貨調整によって、大きく産業調整がすすむことが期待された。まず、部品・中間財を主として輸入に依存しかつ製品は主として各国内で販売されていた部門は大きく生産活動の縮小にみまわれた。自動車組立てがその代表例である。部品・中間財を輸入に依存しているながらも製品を輸出していた部門の影響は、いささか複雑である。部品・中間財の各国通貨建てでのコストは上昇したが、同時に為替レートの切り下げの効果として製品の国際市場でのドル建て輸出価格は低下していくからである。エレクトロニクスの労働集約型製品がこの代表である。東南アジア諸国が、部品等の貿易に関して更に自由化し地域内の自由貿易をすすめれば、部品・中間財のコスト・アップの程度も軽減されることになり、長期的にはこれら製品の輸出競争力の低下は避けられることになろう。今回の通貨危機によって最も強く好ましい影響を受けることになりそうなのが、部品・原料が国内財である輸出産業である。農産物がこの典型である。例えば、タイの場合そのドル建て輸出価格が低下したことで、非常にはやいスピードで、米の輸出が急増し1997年度で530万トン程度の輸出量となり世界最大の米輸出国となった。農産加工品も、ほぼ同じように、為替調整によって国際競争力を増大させていこう。

いずれにせよ、通貨調整は、長期的には、アジア諸国にそれぞれの国が持つ比較優位に沿う方向へと産業構造を調整させていく効果を発揮すると考えられる。

III. 為替レート調整の農業への影響

ここで貿易財部門のなかでも、農業生産が特に有利な状態におかれたことに注目しておこう。特にここで、農業生産と製造業とを対比すると、短期的には農業部門の方が供給の価格弾力性が小さいことを思いおこす必要がある。そのため、同じ貿易財部門のなかで、農産物のほうが、製造業製品より相対価格が有利化する。そのため、輸出農産物であれ輸入競争型農産物であれ、それらの生産に対して、価格構造の面から相対的により強い刺激が与えられることになる。

さらに、農業生産の場合、化学肥料といった技術財をのぞいて、その生産への投入はほぼ国内財である。つまり、原料・中間財の大半は、輸入材ではない。この事態もまた、農業生産が製造業部門に

対してもつ強みである。

経済危機からの回復にとって、この意味で、農業部門は決定的ともいえる重要な役割を担うことになる。農業部門の重要性は経済危機が最も深刻な形をとったインドネシアでもはっきりと確認された。ジャワそれも都市に立地する建設業等の非貿易財部門が最も深刻な影響を受けた。それと同時に、これまた都市近郊の工場団地に立地する輸入代替型製造業も、それが国内市場を販路としていたことならびに原料・中間財を輸入に頼っていたことで、非常に大きな困難に直面している。これらの都市型の資本集約産業に比べて、ジャワ島以外に立地していた農業生産においては、経済危機のなかで逆に強いプラスの刺激を受けて、増産が示されている。例えば、スマトラ島北端のアチェ州では、コーヒー輸出の拡大に支えられて、1998年度に州の総生産は2.5%の成長を示している。同様に、インドネシアの東端にあるイリアンジャヤ州は1.5%の経済成長を記録している（Newsweek、1999.2.3）。タイでも、国民経済全体の回復に、米輸出を中心とする農業生産の拡大が大きく貢献している。これら農業部門は、危機的に発生した都市の失業者を吸収する役割もはたしている。いずれにせよ、経済危機のなかで、健全な農業部門の重要性があらためて再確認されはじめているわけだ。

経済危機からの回復にとっての農業の重要性が再確認されているが、ここでさらに注目しておくべき論点は、この農業生産増加と農村内所得分配との関係である。タイのように、農業が主として家族農業である場合には、農産物価格が上昇すると、賃金と地代の混合所得としての農家の家計所得が上昇する。そのため、農村内での所得分配が悪化することはないし、また農家所得が上昇すれば、それは大衆消費財への需要を下支えしあるいは増加させて、国内の製造業の生産に対してポジティブな刺激を与え、国民経済全体の回復をはやめることになる。

ところで、例えばフィリピンのように、地主・大規模農家と土地無し層とに両極分化した農村構造をもつ国の場合には、為替調整による国内相対価格の変化は、このような良い条件を国民経済に作り出せない可能性が大きい。フィリピンでは、為替レートの過大評価にもとづく農産物の価格低下を補う目的で、各種の農業保護政策が採用されていた。今回のように為替レートがペソの実質購買力に近い水準にまで切り下がれば、政府の保護政策なしでも、稲作の国際競争力が回復すると期待される。

しかしながら、為替調整によって農産物の相対価格が上昇しても、土地無し層はほぼ無制限的供給の状態にあるので、農業賃金は上昇しない。農産物の価格は上昇するが、農業賃金が不変であるので、地主の取り分が増加することになる。つまり、農村内での所得分配は相対的に悪化してしまう。勿論、農業生産の拡大に応じて賃金は一定でも雇用総量は増大するから、農村での所得の絶対水準は上昇しよう。しかし、その効果は、家族農業が支配的な場合程大きなものとはならないであろう。それだけ、国内の消費財産業への刺激効果は小さいことになる。地主の所得が上昇しても、それは大半高価な輸入消費財等に支出されることになる。いずれにせよ、農業の国民経済全体の回復への貢献はそれ程強いものにはならない。

要約的に言って、経済危機からの回復にとって農業の役割は、決定的に重要である。しかし、具体的に農業が経済回復に対してどういう貢献をしようかは、家族農業が地主制かといった農村内の経済構造に規定されていることを忘れてはならない。

IV. ヴィエトナムへの教訓

今回の経済危機のなかで、各国通貨の為替レートが大幅に切り下がったことは、長期的には貿易財

を生産する農業生産活動にポジティブな経済的インセンティブを与える効果をもったといつてよい。勿論、農業特に米生産の持続的拡大には、為替レートの調整による国内対価格構造の変化はひとつの必要条件にすぎない。この事態は、経済危機後のタイの米生産の動向で明らかになっている。

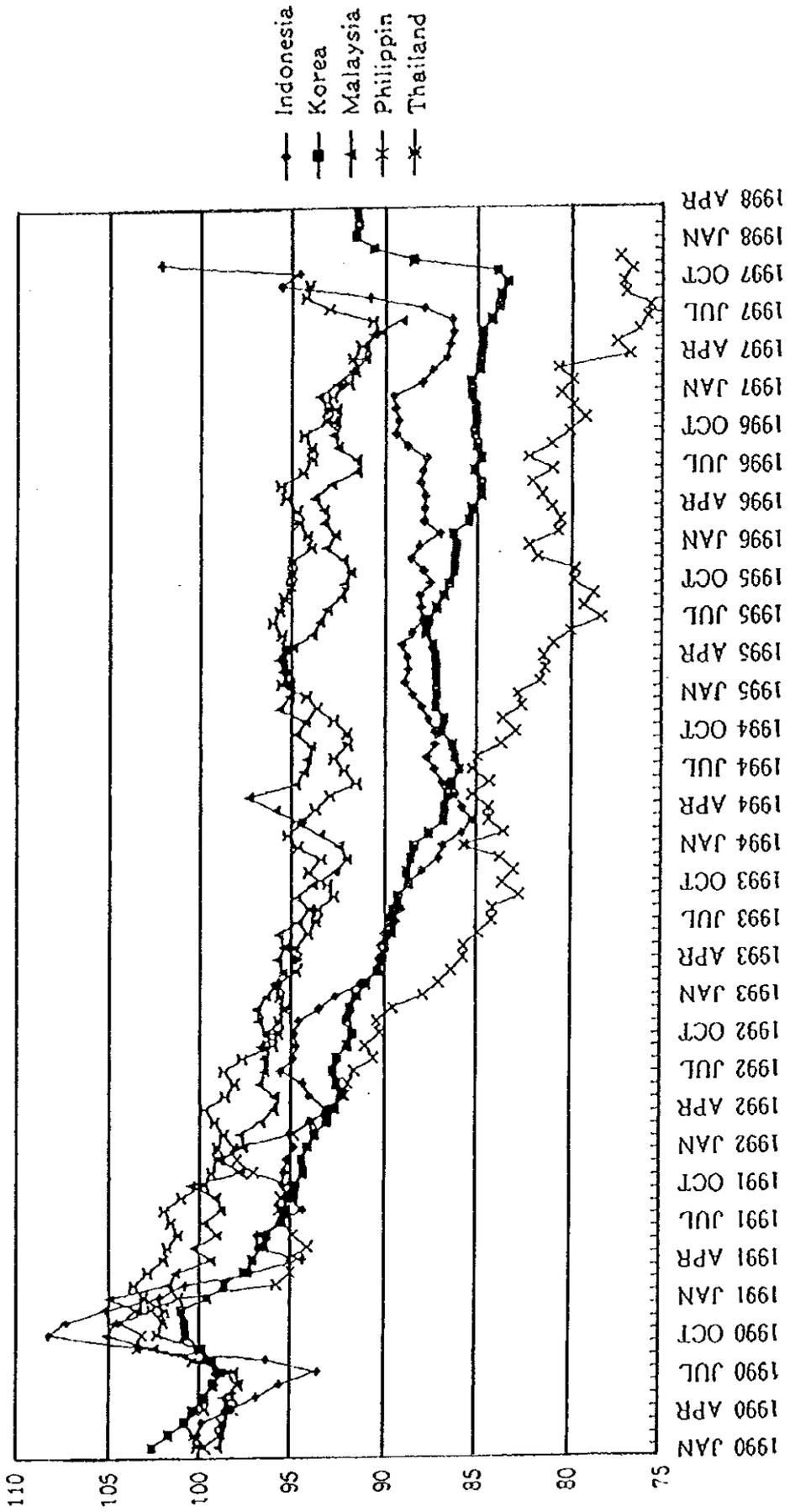
バーツの切り下げがタイ農産物の国際競争力をたかめてくれたが、灌漑水の不足によってタイの重要な農産物・米の生産の伸びに大きな制約が存在していることが明らかになった。タイの米生産の中心地である中部タイでは、為替切り下げによる米価格の上昇によって、乾期の作付面積が政府の予想30万haに上昇している。このため、大きな水不足がおこった。水不足への対応として、政府は各農家に3日間という取水制限をしたが、ほとんどまもられなかったようだ。中部タイのチャイナート県等では、水不足に対処するための井戸掘りがブームになっている。(日本経済新聞、1999.2.8)。あらためて、農業インフラを整備しておくことの重要性が確認されたといえよう。タイは、1980年代後半以来の経済ブームのなかで、農業が国民経済で果たす役割を軽視してきた。具体的には、農業生産を支える基盤ともいえるインフラへの公共投資をほとんど増加させていなかった。そのため、経済危機のなかで、マクロ経済的には好ましい条件が作り出されながら、その有利な条件を十分に活用することに失敗したわけである。

タイでは、金融危機のなかで、精米、精糖、タピオカ工場など農産加工業者に不良債権が多量にたまっていくことが顕在化した。経済ブームの時期に、副業に手を出したことの結果であった。銀行からこれら農産加工業への融資がとまり、そのため農産物の買付けが出来ず、農業生産にも影響が出はじめている。農業多角化にともなう農業成長には、このような加工業者の金融状況といった問題が存在していることを、はっきりと認識しておく必要がある。

更に、1998年後半に入って、世界的規模で農産物・一次産品価格が低迷している。サトウキビ、タピオカ、ゴム等の国際価格は、過剰生産と経済危機後の需要の落ちこみとで低下している。為替レートの調整で国内価格構造の上では、農業部門は有利化したが、経済の国際的開放がすすめば、世界市場でのこのような価格動向もまた大きな問題となってくる。そのため、これらの多様な農産物を生産する農業への金融支援がタイでは、大きな政策課題となっている。

以上のような東南アジアの経験は、ヴィエトナムの農業の再生産過程の維持と発展にとっても大きな教訓を与えてくれている。本報告書全体が示してくれているように、ヴィエトナムの農業は、タイ農業がかかえている問題と同様な問題をかかえている。単に農業部門にとつてだけでなく、国民経済全体の安定的な発展にとつて、農業部門は非常に重要な役割をはたすものであることを再確認しておく必要がある。

WPI/CPI (1990=100)



Outline of Chapter

Phan Doanh

Ministry of Planning and Investment

I. Achievements in the Development of Agriculture and Rural Areas in the Past Ten Years

For the past 10 years, agriculture and rural areas in Viet Nam have reached vital achievements. Agriculture (including forestry and fisheries) has obtained a quite high and comprehensive growth rate in many fields. In particular, the most important achievement is a sustainable and continuous increase in food production, which has changed Viet Nam from a food-shortage country to one of the primary food-exporters in the world. Infrastructure has been improving. The socioeconomic aspect is renewed in the countryside. Material living, cultural and spiritual affairs of communities have been improved. Politic security, social order and defense are ensured. The production relationship has changed basically in quality, which creates conditions for freeing and developing productive forces. Having the above-mentioned achievements, agriculture and rural areas have reached a peak in historical development for nearly 5 decades. This has contributed an important part in leading our country out of crisis and in creating a foundation for social-economic-political stabilization. This has also helped our country to integrate into regional and international communities and created premises for pushing forward industrialization and modernization. The important reason for the above victories is the "renovation" guideline, which has been initiated by the Party since 1986. Afterwards, the Party and the State promulgated a number of appropriate directions and policies, of which Resolution 10 of the Politburo (1988) has been considered as a motive policy. Farmer households have been recognized as independent economic units, and they are free and used all their abilities to enrich their families, society and themselves legitimately. In addition, owing to proper investment, material basics have brought into play efficiently, especially irrigation projects. A lot of technical advances have been applied. These achievements are expressed in some main aspects as follows:

1. Agriculture has reached a quite high and comprehensive growth rate in many fields. It has been estimated that for 10 years (1991-2000), output value of the entire agricultural branch has increased by 5.6% per year, of which agriculture increased by 5.4% (food 4.2-4.3%, industrial crops 10%, animal husbandry 5.4%), fisheries 9.1%, forestry 2.1%.

The salient point is that for 10 years estimated food output increased by 11 million tons (compared to 1990); the average increase is 1.1 million tons per year. In 1998, it was 31.85

million tons. Average food per capita increased from 294.9 kg (1990) to 407.9 kg (1998). Viet Nam not only has enough food for domestic consumption and stores but also has become one of the large-quantity exporters. In 1998, Viet Nam exported 3.8 million tons of rice; and by the year 2000 the figure is estimated at 4 million tons.

For 8 years (1991-1998), the production value of the entire agricultural branch increased by 5.96% per year: agriculture 5.68% (food 5%; industrial crops 10.4%; fruits 2.36%; beans and vegetable 6.08%; animal husbandry 5.85%); forestry 2.32%; fisheries 9.55% (fishing rose by 9.8%, aquaculture by 8.9% per year).

Pork (carcass weight) rose by 6.7%, poultry 6.8%, eggs 7.4% per year (in terms of production value).

Some crops increased (also in terms of production value) quite well such as coffee by 20.8%; rubber 16.7%; tea 6.2%; vegetables 5-6% per year. Fruits of all kinds rose by 2.4%; particularly, for longan, litchi and rambutan, the average growth rate was 21% per year in the 1995-1998 period.

(In 1998, the output of coffee was 409,000 tons; of rubber 199,000 tons, of tea 52,000 tons; of vegetables more than 5 million tons. The total number of pigs is 18 million head; of poultry more than 166 million; and of eggs 3.2 billion).

Fisheries accounted only for 10-11% of the total value of the agricultural output, but it became the major export branch in the national economy, which made up about 20% of the agricultural export turnover and about 8-9% of the national export turnover. Exports increased on the average of 20% for 8 years, and the estimated growth rate was 17.7% per year for the 10 years. The fisheries' output increased by 8.85%, of which the aquacultural output rose well—at the rate of 13% per year. In 1998, the fisheries output came up to 1.755 million tons; export value reached USD 850 million. Aquacultural areas covered over 508,000 hectares.

Regarding the forestry sector with Program 327, forest diminution started to be prevented. Forestry has been changed from an industry based mainly on the state sector, biased towards cutting timber to one based mainly on silviculture and the people are considered as a major workforce to protect and develop the forest. In the 1976-1990 period, forest area disappeared on the average of 190,000 hectares per year, but the figure was only 35,000 hectares in the 1991-1998 period. For 8 years (1991-1998), 1.373 million hectares of forest have been planted, 9.3 million hectares of existing forest have been protected, and 700,000 hectares have been regenerated. The ratio of covering forest, which excludes those areas covered by perennial industrial crops and fruit trees, rose from 28.2% (1995) to 30.8% (1998). Many provinces have a very high ratio such as Tuyen Quang (45%). In order to implement instruction on the closing natural forest, the output of wood which was exploited from natural forests declined from over 1 million m³ (in 1990) to about 0.6 million m³ (in 1996), and

is at the level of 0.15 million m³ (1999 plan). The export value of forest products is about USD 158 million per year.

Export turnover of the entire agricultural branch has increased rapidly. In 1990, it was USD 1.106 billion; in 1998, it was USD 4.394 billion which made up 47.9% of the national export turnover. The increase was on the average of 18.8% per year in the 1991-1998 period and the estimated average will be 15.07% for the 1991-2000 period.

Comparing with the development targets for the 1996-2000 period made by the 8th Party Congress, many important goals were achieved and over-fulfilled. The planned growth rate of agricultural production is 4-4.5%, the estimated result is 4.5-4.8% (for all agricultural-forest-fisheries production). The targets for fisheries (fishing output and aquaculture, export value) and for sugar production were fulfilled. For the target for food output, the planned figure is 30 million tons by the year 2000; but in 1997, it had already reached 30.5 million tons. If food output is 32.5-33 million tons in 2000, it will exceed the target by 2.5-3 million tons. This goal is important and was achieved 3 years earlier than was planned. It is the greatest achievement in agricultural and rural development in 10 years.

2. Rural professions (vocations) have been re-established and developed; many large-scale, specialized regions that produce agricultural commodities and are closely combined with the processing industry have been set up. These form new positions and strength for the agricultural and rural economy.

By the year 1998, the area of rubber production was over 389,000 hectares, which was mainly concentrated in the Central Highland, the Southeast; the coffee Production area was 362,000 hectares—mainly in the Central Highland; tea was over 83,000 hectares in the Northern Midlands and Mountains, Lam Dong province. Many regions growing having large areas growing fruit such as litchi of high quality (about 7,000 hectares in Luc Ngan district, Bac Giang province); apricot, plum, orange, mandarin, custard-apple in the Northern provinces; dragon, grapes in the Central; and longan, mango in the Mekong River Delta were established. Diversification of agricultural production tended to reduce the proportion of food crop area from 78% (1990) to 72% (1998). Some products, which were increased, could partly meet domestic demand and, therefore, reduce imported quantities. In 1998, fiber cotton production amounted to 7,000 tons, which met 11.6% of demand; by the year 2000, it is estimated that this amount will be 25,000 tons, which could meet 25% of demand. Milk output reached 38,000-40,000 tons, meeting about 7-8% of demand. From 1999, it is expected that, domestically produced sugar will basically meet the demand, and there will be no need to import.

Rural professions have been developed. Hundreds of traditional handicraft and small industrial villages have been rehabilitated and developed to support such industries as porcelain and china, textiles, wood-engraving, and woodwork. This creates conditions for

generating non-agricultural jobs. The proportion of agricultural labors in the total labor-force declined from 72.27% (1990) to 68.78% (1997).

3. The agricultural and rural economy has step by step been integrated in regional and international economy. This is a condition for expanding markets and increasing exports of agricultural products. It also induces Viet Nam to enhance quality and production efficiency to increase the competitiveness of its goods in the international market as well.

Vietnamese agricultural and rural products are found in a lot of regional and international markets. Some exported commodities have occupied an important market-share in international markets such as rice, which is ranked second in the world (following Thailand), and accounts for about 20% of the international rice market; coffee is ranked third and accounts for about 10% of the international market (following Brazil, India); cashew nuts are ranked second (following India). Some other commodities have started to penetrate into such strict markets, such as vegetable into Japan, suckling pig into Hong Kong and Singapore, canned pineapple into America, and fisheries products into the EU. On the other hand, there are a lot of foreign goods in the Vietnamese market such as grapes, apples, oranges, mandarin oranges and even rice.

There are more and more Vietnamese people going abroad to exchange experiences in management, production, business, culture, and tourism. The number of foreigners who come to Viet Nam to get knowledge, do business and expand the market is increasing. At the end of 1997, there were more than 360 FDI projects in the agricultural-forest-fisheries and food processing fields with a total investment capital of more than USD 3.7 billion. There were also over 130 ODA projects which committed financing for agriculture and rural areas with a total capital about USD 1.5 billion.

4. Many technical and scientific achievements have been applied and are taking an important part in agricultural and rural development.

Many new plant seeds and breeding animals have been used in production. According to the assessment of agricultural experts, up to now nearly 70 new varieties of rice have been planted in 87% of the paddy cultivated area (it was 17% in 1980, and 47% in 1990). In 1998, varieties imported from the International Rice Research Institute (IRRI) were grown in 50% of the paddy cultivated area in the Mekong River Delta. In the Red River Delta, hybrid varieties were planted in 12-14% of the paddy area. Hybrid maize accounted for 40-45% of the area, hybrid cotton accounted for 70%, and high-yielding sugarcane accounted for 16%. Compared to total head of each animal, the Sindhi hybrid cow made up 12%, and leaner pigs (45-50% lean) made up about 20%. Many breeders of shrimp, crabs and other special aquaculture were developed.

The pattern of cropping has changed with the tendency of enlarging high-yielding winter/spring and summer/autumn paddy areas, and of reducing low-yielding winter ones. (The pattern of winter/spring-summer/autumn-winter areas was 30:13:57 in 1980 and 38:26:36 in 1997, respectively).

5. Material and technical infrastructure has been improved. That makes an important change to agricultural and rural productive forces.

Up to now, 743 medium and large ponds and dams, and 3,500 small ponds have been built. There have been over 1,000 large draining sewers, about 10,600 large and medium pumping stations with a total capacity of 24.8 million m³ per hour, over 1,000 large draining and irrigating channels, and a network of inside-field draining and irrigating with 755,000 small and medium water pumps purchased by cooperatives or farmers. For 10 years, irrigation capacity has risen by 1.4 million hectares, and draining capacity by 250,000 hectares; so the total designed irrigation capacity has reached 3.7 million hectares, with draining capacity reaching 1.4 million hectares. 5.94 million hectares (out of 7 million ha of paddy cultivated area) and 900,000 hectares of vegetable and industrial crops are now irrigated by the irrigation system. There are 122,958 tractors of all kinds-an increase of 4.9 times compared to the 1990 level-of which big tractors (>12 horsepower) account for 30%. There are over 231,159 threshers powered by engines-an increase of 8 times compared to the 1990 level. The number of cars is 22,000, which is twice the 1990 level, of which 15,000 lorries (90% of which are owned by farming households). Fishing ships (powered by engine) amount to 71,600, which is 1.7 times the 1990 level, of which 4,000 ships are with large-capacity (>90 horsepower) and are capable of offshore fishing. For 10 years, about 25 fishing ports with a total berth length of 4,000m have been improved and upgraded, of which 12 ports are on islands. A network of fishing ports has been built. The number of machines has increased rapidly, so many hard jobs can be mechanized. This creates conditions for rising productivity and a decrease of manual labor.

The rural transport system has been upgraded and developed. By the end of 1997, 93% of communes had roads to their centres; nearly 70% had electricity; 98% had primary schools; 92% had health clinics; and nearly 40% of the population had safe water to use. Many new rural towns were established.

Many processing factories and refineries have been built, including 50 sugar refineries with a designed capacity of 1 million tons of sugar, nearly 200 fisheries with a capacity of about 200,000 tons, about 40 rubber factories with a capacity of 270,000 tons of rubber milk, 70 tea factories with a capacity of 50,000 tons of dried tea, over 60 cashew-nut factories with a capacity of 220,000 tons of cashew material. These have created a new face for the agricultural product processing sector, and have also created conditions for increasing the value of agricultural products.

More than 30 scientific research institutes and stations for breeding plants and animals have been set up. For fisheries, up to now, 1,415 breeding stations, have been built including 375 stations and 1,040 shrimp stations. Five billion fish breeders and 3 billion shrimp breeders can be produced annually.

6. Production relationships have changed basically in quality, and that is an important condition for freeing and developing agricultural and rural productive forces.

Households are considered as independent economic units. They themselves can decide production lines, decide to buy or sell materials, and also decide to sell products made from their own land. Tens of millions of farming households were freed from "everybody's business is nobody's business" as in former cooperatives; so they have tried their best to work and to create. Over 1.5 million farming households have reached good production standards.

A model for farming production emerged and has developed rapidly, exceeding our prediction. There are now about 115,000 farmhouses, mainly in the midlands and mountains, of which many have hundreds, even thousands, of hectares of agricultural land. This is an efficient model for agricultural production.

Old cooperatives have been reformed by the enactment of the new Cooperatives Law. Hundreds of cooperatives and cooperative groups are newly established and are doing business well.

State-owned agricultural and forest enterprises have seen many improvements regarding allocating of gardens and cattle to worker households on a contract basis.

7. Conditions in the areas of accommodation, transport, medical treatment, income, and living standards in many rural areas have been improved step by step. The socio-economic aspect has changed significantly; millions of farming households have become richer.

The proportion of households who possess solid houses, television sets, radios, bicycles, motorbikes, and electric fans is increasing. The proportion of poor households declined from 30% (1992) to about 17% (1998). Some products per capita rose quite well in 1998 compared to the year 1990. In particular, food rose by 1.25 times, pork (carcass weight) 1.42 times, eggs 1.5 times, beef 1.32 times, poultry meat 1.33 times, and fisheries output 1.6 times.

The proportion of persons who can read and write or have graduated from universities, training colleges, or secondary schools has increased. In the 1998-1999 school year, the average number of people enrolling in schools out of 100 people were 13 for primary school, 7.13 for junior high school, and 2.11 for secondary school. Compared to the 1990-1991 school year, the numbers have risen by 1.78 times for junior high schools and 2.67 times for secondary schools (no rise for primary schools). Cultural affairs, gymnastics and sports,

and traditional customs and festivals are being rehabilitated and developed. More than 272,000 households with 1.2 million people of which 623,000 were laborers were moved to new economic zones. They were helped to initially stabilize their daily life and then to work. About 800,000 people of ethnic minority were settled permanently; and over 1.2 million people are getting benefits through projects for fixed cultivation and resettlement. In many border areas mines have been disarmed and infrastructure has been upgraded, so people's lives have stabilized.

8. The management and organizing system in agricultural production and rural area has been strengthened from the central to local levels, and that has played an important part in stimulating agricultural production and developing the countryside.

At the central level, the Ministry of Agriculture and Rural Development was re-organized in the line with the unification of three former ministries: the Ministry of Agriculture and Food Industry, the Ministry of Forestry, and the Ministry of Water Resources. At the provincial level, many corresponding departments were formed as well. The Bank of Agriculture and Rural Development and the Bank for the Poor were established to supply credit for agricultural production and the countryside. A system of Credit Funds came into being with over 1,000 funds operating at the village and commune level. A system for agricultural-forest-fishery extension was also set up. So far, there is an agricultural extension centre in each province and throughout the country there are 377 district or inter-district centres with a total staff of over 2,800 people. In addition, 80% of communes have local extension personnel. From the central to local levels, management cadres in agriculture and rural areas are strengthened, trained and re-trained.

II. Some Recently Unresolved Issues of Agriculture and Rural Area

Although a lot of important achievements were reached, there are still many unresolved issues and weaknesses in agriculture and rural areas. Production still contains some unstable factors. Yield, quality and efficiency are low; competitiveness and integration in regional and international communities are still weak. Technological science and infrastructure do not meet the requirements of advanced agriculture in the countryside. Relationships and management in production still need to be perfected. Economic structure reforms slowly. There are many redundant laborers and the proportion of trained laborers is low. In general, income is low and the proportion of poverty is high in many regions. The environment is polluted in some regions. Natural resources are continually destroyed. The main reason is that policies made by the Party and the State are carried out inefficiently and weakly. On the other hand, some of the state's policies and mechanisms are not integrated because they are not powerful enough. Our starting point is too low, both the state and the people

are poor, and investment capital is short; the ability of cadres from the central to local levels is weak, and they lack experience in managing production and doing business, so everything cannot be simultaneously dealt with. The unresolved issues and weaknesses are expressed in following aspects:

1. *Agricultural production in the countryside still contains many unstable factors and that makes sustainable development difficult.* Agricultural production is subject to damage from natural calamities. The state still subsidizes many products in many ways, including aid in the areas of interest, selling price, and transportation charges. If these subsidies dry up competitiveness will suffer. Some products are few but redundant. Many products do not meet foodstuff hygiene standards, especially exceeding levels of residual chemical substance for plant protection.
2. *Viet Nam's ability in integrating into regional and international economies is weak. That is the challenge for agricultural and rural development.* Productivity, quality and efficiency of production is low and production costs are high so competitiveness is weak both in the domestic and export markets. Many products do not meet large-scale export standards in such areas as vegetables, fruits, and meat. Some products mainly export in the forms of crude material, so prices are usually lower than standard international prices (rice is 30-50 USD per ton lower, coffee and tea 100-150 USD per ton lower and the price of pork is only about 60% of the international price). Some products can sell in the domestic market but at high prices such as sugar, milk, cotton, and artificial wood. (Cotton: the domestic production cost is 18,000-19,000 VND per kg while the import price is 18,000 VND per kg. Particular wood: the domestic production cost is 2.35 million VND per m³ while the import price is 2.0-2.1 million VND per m³).
3. *There are many redundant laborers and the proportion of trained laborers is low. Rural professions and services are underdeveloped. Economic structure is reformed slowly.* The agricultural GDP still accounts for about 70 % of the rural economy. Cropfarming accounts for about 80% of the total value of agricultural output, while the figure for animal husbandry is about 20%. For the past 7 years, the rural population has fluctuated at around 78% of the total population. Only two thirds of working time in rural areas is used productively, i.e., there is some degree of underemployment. Redundant laborers number approximately 9 million; in fact this figure may be higher. There are more than 1 million people reaching the working age every year. The proportion of illiterate laborers makes up 5.8%. Trained laborers account for 10-12%.
4. *Infrastructure and technical basics are weak and do not meet the requirements of advanced agriculture and rural areas.* Irrigation projects only operate at 70% of designed capacity. A large number of areas, especially industrial crop areas are not irrigated. The system

of dykes is not safe. At the end of 1997, over 663 communes (about 6.7% of all communes) did not have roads to their centres; 91.7% of districts and 70.75% of communes had electricity but the quality of power networks was low, service was bad, electric charges were higher than those in urban areas. There are not enough schools, medical centres and equipment. About 76.4% of communes did not have medical doctors, 5% of communes did not have health clinics; 27% of health clinics did not have maternity hospitals or obstetricians. More than 60% of rural people did not have safe water to use, and more than 80% of households did not have hygienic latrines, especially in the Mekong River Delta.

5. *There are still many problems which need to be solved in the scientific and technical field. These are factors that limit productivity, quality and efficiency of agricultural and rural production.* High-yielding and good-quality varieties are not sufficiently applied. Hybrid varieties which are domestically produced only meet 10% of the needs. Varieties for aquaculture are not actively provided (except in fish breeding). Productivity of plants and animals is generally low and equals to only 30-50% of that of advanced countries. In terms of technique and technology, a lot of old and obsolete equipment is used that consumes much energy, makes costs high, creates losses, and leads to low quality of products. The average loss for paddy is 13-16%, in particular, the summer/autumn paddy crop in the Mekong River Delta is 18-20%, and the vegetables and fruits crop is 20%.
6. *The production relationship needs to be continually perfected in order to suit new productive forces.* Households are dominant, but they have little land, a shortage of capital, and simple and obsolete technology, so large-scale commodity production is difficult for them. Cooperatives were renewed but are still biased towards formality. State-owned agricultural and forest enterprises have changed significantly but their efficiency is low. A family-style farming model emerged and has expanded rapidly, but it is still too small in number.
7. *Income, living standards, cultural knowledge, and intellectual standards in rural communities are generally low, even very low in some places. The proportion of poverty is high and is an urgent problem in some places. The income gap between rural and urban areas is increasing.* In the countryside, income and living standards are generally low, very low in some regions, especially in mountainous and remote areas. According to a survey conducted by the General Statistics Office, the gap was 2.6 times in 1996; 2.7 times in 1997; and in big cities it was 3.2 times and 3.5 times, respectively. According to a survey by the World Bank, the gap was 5 times in 1990, 8 times in 1997. At the village level, most of the cadres have not been trained; in the mountains they even are illiterate.
8. *The environment is polluted in some regions. Forest land, land for industrial crops and*

ocean resources are not fully assessed. Lack of investment capital leads to a great limitation to agricultural and rural development. Forests are still being destroyed. Many handicraft villages, water sources, and rivers are polluted. Using exterminating means for fishing continually exhausts ocean resources. In many master plans, much land set aside for forest and industrial crops, but during the implementation process, the actual amount of land utilized is insufficient. Sea resources are not fully assessed, so efficiency of offshore fishing is low. Lack of investment capital will be a great limitation to development in the coming years.

For rice production, there are some existing problems:

- Production is still at the whim of nature. One of the reasons is that although importance has been attached to investment in irrigation, it is still lower than what is needed because both the State and the people are poor, therefore it is not able to mitigate natural calamities. Therefore droughts, floods, and salt incursion occurs regularly.
- Output and input prices of rice depend on international markets and prices because most fertilizers and insecticides have to be imported and Viet Nam is a rice export country.
- The average yield of paddies is low, just about 4 ton/ha/crop. It is equal to about 60% of that of Japan, Korea, and China. It is necessary but difficult to raise the paddy yield in the coming years because in many regions of the Mekong and the Red River Deltas the yield has already reached 10-12 ton/ha/year, and it is very difficult to raise it further. In the Northern Midlands and Mountains, the Central Highland and Northern Central Coast, the yield is low but it will be difficult to raise it further in these areas as well because of bad land and large investment in irrigation.
- Post-harvest losses are high because machines, equipment, storage facilities and technology for preservation are backward. Post-harvest losses are about 13-16%, during preservation and husking period the annual loss is about 7.2-9% equivalent to 2.5-3 million tons of paddy production. If post-harvest losses are reduced by 3-5% per year, output of food will increase significantly.
- There are some limitations in the system for storage, processing, and selling rice. Rice export is still distributed in line with planned quotas and export mediators, mainly State-owned enterprises. That fact could limit competitiveness of Vietnamese rice.
- Land is limited and dispersed (each household has an average of 8-10 pieces of land) which is inconvenient for intensive farming and mechanization of agricultural production. Manual labor still accounts for a high proportion of total production costs (30-40%).
- In connection with rice seed; the annual need is about 1.1 million tons of paddy seed; but currently Provincial Seed Companies only meet 2.6% and Central Seed Companies meet about 4-8% of the demand. Most seed (about 90%) is produced by the people themselves. Quantity and quality of seed does not meet the requirements for production. Equipment for seed production is lacking or obsolete.

III. Some Policy Directions

1. Land

Viet Nam is currently studying possible amendments to the Land Law based on the following ideas and experiences:

- There is a need to reconsider the appropriate terms of land use to ensure that land is available for producers while also encouraging large-scale accumulation of land under certain possible conditions.
- With the transfer of land use rights, land accumulation is an obvious consequence in the developmental process. However, this accumulation needs to be managed by the State and has to suit the general level of national development. It cannot be allowed to occur spontaneously, because if it does, it will result in numerous poor people losing their land and being worse off.
- Provide various opportunities for farmers with the aspiration and ability to obtain productive land.
- By the year 2000, aim to complete the allocation of land to farmers and give them land use certificates.
- Encourage farmers to transfer arable land in order to reduce fragmentation, which is unsuitable for production and mechanization. Currently there are 100 million separate agricultural land holdings and many households have 6-8 holdings, and some have up to 20 holdings, of land.
- Sum up the implementation of the 1993 Land Law and, from that basis, prepare a comprehensively modified Land Law at a later date.

2. Rural credit

Viet Nam has accomplished a great success in building a rural credit system, and in doing so it has significantly improved the credit supply situation for farmers. However, formal loans only meet about 50% of the demand of farmers. Many households are still not able to access formal credit organizations for obtaining loans, but rather sometimes borrow from informal sources at high interest rates. (Some people borrow at very high interest rates, rarely for agricultural production but mainly for consumption or very short-term business needs). Approaches to improving this situation in the coming years are:

- Increase the available source of funds of formal credit institutions in rural areas so that farming households are able to borrow from these institutions.
- Increase medium-term and long-term loans.
- Eliminate the discrimination in providing credit to state and non-state borrowers. The government is currently trying to provide credit to all economic sectors with the only

- condition being profitable production (for example, credit for industrial crop plantations and offshore fishing).
- Issue reasonable interest rate policies in order to encourage deposit mobilization and lending.
 - Gradually reduce preferential loans so that financial resources will be allocated to highly profitable fields
 - Simplify lending procedures.
 - Even though there are currently some different opinions about the Bank for the Poor, this bank can be exist only if there are poor people to serve. When the target of eliminating poverty is fulfilled, the bank have to change its goals and operating mechanisms.

3. Develop and apply scientific technology

Priority should be given to developing and applying scientific technology to plant breeding such as seed selection, domestic hybridizing and seed importing.

To encourage seed producing stations to make joint ventures with foreign partners to produce high-quality crop seeds that are suitable for Viet Nam's conditions.

To research, manufacture, import, and disseminate advanced machines and equipment in order to improve efficiency in such areas as drying, preserving, and processing of agricultural products, and consequently, to reduce post-harvest losses and to maintain and increase product quality. Researches should also be focused on advance farming techniques relating to such fields as veterinary science, plant protection, irrigation, mechanization, excavation and other earthwork.

To strengthen the agricultural extension system so that it reaches every commune and village that will introduce advanced production methods to farmers, especially in mountainous and remote areas.

Advanced technology should be applied to protect the agricultural and rural ecological environment.

To consolidate research centres and to train qualified personnel who can master current advanced technologies. There should be policies rewarding and honoring scientists who have contributed important achievements and inventions to the agricultural sector.

4. Policies for economic sectors

The household economy is considered to be the main form of agricultural and rural economy at present and in the future.

Cooperative economy. There is a need to review and evaluate the development situation of the cooperative economy and the implementation of the Cooperative Law in order to direct and expand this type of economy with the tendency toward diversification, based on the free

will of farmers and the support of the Government. Cooperatives that operate reasonably well are helped (through arrangements of capital, assets, lending and debt provision, extension, training and other services, etc.) to change into new cooperative types. Those cooperatives that are currently performing poorly, and which have ever been supported but are likely not to be rehabilitated, can be dissolved if the members agree. If this happens, members should be guided so as to be able to establish more suitable forms of cooperatives. As a part of this process, cooperative staff members will be provided with further training.

Strengthen the role of the State economy in agriculture and rural areas so that it can take a leading role. The State sector should focus on such fields as production planning, irrigation investment, rural infrastructure, capital aid, science and technology, training, development of processing, and doing the business of import and export commodities, particularly paying attention to mountainous and remote areas.

Renew State-owned agricultural enterprises. It is necessary to enhance the efficiency of these enterprises by directing the contracting out of land, long-term crops and livestock to farmers and local residents for the long term. The lands that these enterprises do not use or use inefficiently should be given to local authorities to allocate to households. State-owned agricultural enterprises should concentrate on input and output services, technology transfer, and processing.

Renew State-owned forest enterprises: The functions of these enterprises need to be more clearly defined for each type. For those managing protected forests or special forests, reform should take place so that, a management board will be put in place and that will operate with its state budget allocation. Most of the economic forests (except natural forest) should be allocated to worker households and local people under contract to manage the forests as a business. State-owned forest enterprises would then mainly focus on input and output services, technologies, marketing, and processing.

Private economy: The private economy should be stimulated to invest in mountainous, midlands and coastal regions, to do business in barren and uncultivated land, to develop professions and rural services, processing, and livestock, and to build infrastructure. For some agricultural activities, pilot joint ventures could be made with the State at several locations.

Family-style farming economy: This is one type of household economy which can be highly developed in terms of area scale, invested capital, technical skills, new knowledge, management, more intensive farming, mechanization, the range of commodities, and profit. It is a form of advanced and efficient production in agriculture. This type will be the main force to promote rural industrialization. The government will continue to study suitable policies to encourage the development of the household economy and to limit disparities between it and other sectors of the rural economy.

In the past, Viet Nam seemed to give priority to state-owned enterprises, creating some inequalities between state enterprises and non-state enterprises. This occurred particularly

in the fields of credit, financial management and import-exports. However, it comes from the fact that individuals in Viet Nam still had little capital to invest and did not have much business experience. Therefore, at first, state-owned enterprises had to be built as the basis for development. More recently it can be seen that individuals are increasingly able to manage, so the State has issued a number of policies to encourage the greater involvement of individuals.

5. Upgrade and complete market policies

Domestic market

Eliminating completely all of constraints that obstruct the movement and availability of products and materials in domestic markets. The Government will develop market information systems, strengthen controls over the quality of goods, be active in resisting smuggling and the production of counterfeit goods, and stimulate competition among economic sectors. To do these, there is a need to attach more importance to the domestic market, which is considered an important place for selling agricultural and industrial products, and for its linkage to the international market.

Strengthening important State commercial organizations that are necessary in rural areas. Diversify cooperative forms between the State and other economic sectors. Minimize the effects of floating (un-controlled) rural markets, which cause losses for farmers.

Foreign market

Encourage and create favorable conditions for all sectoral economic enterprises to look for markets and to export agricultural, forest and fisheries products. Reduce taxes or give better access to loans from State-assistance funds for those enterprises that can export their products well. Rice export quotas need to be flexibly reviewed to ensure stable food supplies and domestic prices, without obstructing enterprises ability to earn high profit. Gradually changing to employ the mechanism of taxation management while maintaining reserves for food security is a better strategy than employing commercial restrictions.

The focus is on measures for enhancing competitiveness of agricultural, forestry and fisheries products. Assistance should be strongly given to enterprises that actively seek and penetrate new markets. Enterprises should pursue expansion of Asian and EU markets, overcome setbacks and then restore a share in Russian and Eastern European markets and then gradually penetrate the American market.

Employ a flexibly managed mechanism of importing agricultural, forestry and fishery materials in order to support domestic production without allowing domestic prices to increase too much in comparison to the international prices so that competitiveness of the products would be improved.

Be ready to carry out those commitments to commercial liberalization according to the

agreements under AFTA, APEC and WTO. While striving to exploit opportunities in international markets, it is also necessary to protect domestic production.

6. Strengthen the State's managing system in rural areas

In general, the State's managing systems for agricultural-forestry-fishery production at the central and the provincial levels are systematically organized, but the ones at the district and commune levels are not so well developed. There are still some shortcomings in the systems, such as the State's management functions for agricultural and rural development being not well defined and the system's confusion regarding both guiding and implementing policies, especially in coordinating with other agencies involved. In the system of forest protection, staffs at provincial, district and commune levels are few in number and lack skills and knowledge, especially in mountainous and remote regions. So we need:

- To strengthen the system of forest protection by forming a task force for the movement of nation-wide forest protection.
- To supplement staffs at provincial departments of agriculture and rural development as well as district offices. Each commune should choose one cadre, at least, who is responsible for agriculture-forest-fishery activities. He or she should be a vice chairperson or a member of the People's Committee.
- To train State management staff members on agriculture and rural development, especially, those at the district and commune levels.

IV. Some Issues Need to be Researched in Phase 3

Some issues researched in phase 3 should be combined with the formulation of 2001-2005 plan. Based on that, some issues are raised as follows:

1. Identify the growth rate of agriculture: how much is suitable ?

- In the 5-year 1996-2000 plan, the growth rate of agricultural production is estimated at 4.58%, of which agriculture is 4.53%, forestry 2.17%, and fisheries 5.74% (food crops 3.7%, industrial crops 9.83%, coffee 15.6%, rubber 14.3%).
- In the 5-year 2001-2005 plan, there are two scenarios regarding the growth rate:
 - + The low scenario: The growth rate is planned to be 4.0%, of which agriculture is 3.7%, forestry 2.2%, and fisheries 6.0%, (food 1.8%, industrial crops 6.5%, coffee only increases 5.9%, rubber 9.6%). According to this scenario, by the year 2005 output of food will increase by 3 million tons compared to the year 2000; the average increase is 600,000 tons per year.
 - + The high scenario: The growth rate is planned to be 4.8%, of which agriculture is 4.4%, forestry 2.5%, and fisheries 7.0% (food 2.3%, industrial crops 7.0%, coffee 7%, rubber

10.8%). In this scenario, by the year 2005 output of food will increase by 4 million tons compared to the year 2000; the average increase is 800,000 tons per year.

Comparing the two scenarios, the former is quite realistic, however, the latter is quite high, and will require active measures to implement.

2. Increase farmers' income

In the two scenarios (in which the growth rate is 4-4.8% per year) by the year 2005 farmers' income will only rise 1.17-1.22 times compared to the year 2000. This is equal to the increase of the year 2000 compared to the year 1995. The question is whether this increase is reasonable or not, and is it necessary to induce a large increase? If it is necessary to increase more, it should be done by two ways:

- Increase the value of agricultural products. This means that the growth rate of agricultural-fisheries-forestry production must be higher than 4.8%.
- "Push" labor and population out of agricultural production. This means the development of non-agricultural jobs.

Neither way is easy.

3. Deal with the problems of selling products and competitiveness

- Vietnamese Products can be divided into 3 main groups:
 - + High-competitiveness group (rice, coffee, tea, cashew nut, rubber)
 - + Lower-competitiveness group which needs to be supported (vegetables, fruits, meat, other processed foodstuff)
 - + Less-competitiveness group (sugarcane)
- It is possible to develop some products, especially fruits area in the mountainous regions in order to alleviate hunger and reduce poverty, but markets for the products are limited.
- How should we solve the problem of selling and enhancing competitiveness of agricultural products?

4. Export agricultural products

In 1998, the agricultural sector exported USD 3.783 billion, in the year 2000 it is estimated that it will reach USD 4 billion; the average growth rate is 9.7% per year. By the year 2005, the export turnover of the whole sector is estimated to be USD 6.5-7.5 billion; the average growth rate is estimated to be about 8.3-11.5% per year during the 2001-2005 period. The increase of exports in the five coming years is also approximately equal to the figure of the past 5 years, of which:

- Rice exported is stable at about 4 million tons (it could reach 4.5 million tons).
- Fisheries: increase in exports is high, with the average increase being USD 200 million

per year (15% per year).

- There will be a trend toward decreasing growth of coffee output compared to the past 5 years.

Is it possible to increase exports of agricultural products or not? How do we solve this problem?

5. Rural infrastructure

In general, rural infrastructure is not well developed. There are still more than 600 communes which do not have roads to their centres. About one fourth of the population does not have televisions and 10% does not have radios. In many regions people are not within the broadcast range of Viet Nam Television and the National Radio, namely the Voice of Viet Nam. Under such conditions, it is very difficult to improve people's intellectual standards and to guide production. In the five coming years, these situations need to be improved.

6. Education, training

In several places, educational and training units are very weak, especially in the mountains, including semi-boarding and boarding schools. Children are the future of a country; the people's intellectual standard is an important condition for poverty reduction. In the five coming years, it must be ensured that all schools and classes are built to least at the minimum standard that can be acceptable.

7. Concerning forestry, barren hills and land, fixed cultivation and resettlement

Two thirds of Viet Nam's total area is forestland, however actual forest area is rather small, and the forest covering ratio is low. For nearly past ten years, the State has annually spent hundreds of billion VND in planting and protecting forest, and as a result this ratio has increased significantly. However, there are some shortcomings:

- Forests are still being destroyed. The State has spent a lot of money but people who live in forest regions are still poor.
- Shifting cultivation is still commonly practiced. Despite carrying out the program of fixed cultivation and resettlement for nearly 40 years, by the year 2000 it is estimated that only about 50% of people will be settled. The practice of "slash and burn" for cultivation is still popular, especially in the Northern Mountains.
- The question is how can the State spend less money but maintain forests while improving the living standards of the people is better. It is not only an economic issue but also environmental and resource protection issue which will affect future generations.

ヴィエトナム農業・農村発展の新方向

－ JICA ヴィエトナム・フォローアップ・プロジェクトにおける論点 －

泉田 洋一

東京大学

I. はじめに

1. 研究の背景

フェーズ1及びフェーズ2における農業・農村部門の調査研究は、ヴィエトナム農業及び農村の発展に関する重要研究課題を個別的に選択してなされ、優れた成果をあげた。ただ各テーマが独立したものとして議論され、テーマ相互の関連性や、その関連性の分析を踏まえたヴィエトナム農業・農村の包括的分析という点はやや希薄であったと考えられる。今回のフォローアップ研究は、フェーズ1及びフェーズ2の成果を踏まえつつも、各研究課題の相互関連を十分に意識しながら、ヴィエトナムの農業・農村を総合的視点から捉えようとするところから出発した。ただ包括的分析をヴィエトナムの農業・農村に適用しようとする場合、すべての農産物を対象にすれば、問題の焦点がぼやけるという危険性がある。そこで今回は、ヴィエトナム農業・農村の中で中心的な位置にある米穀経済に焦点をあてることとした。まとめていうならば、今回の研究はヴィエトナム農業・農村を“米穀経済”(Rice Economy)という視点で捉え、その“再生産過程”(Reproduction Process)を解明しようとするものである。

米穀経済のトータルな把握という場合、まず第1に、ヴィエトナム米穀経済の現段階を長期的流れの中で位置づける必要がある。食料消費の動向、生産の動向換等について分析を行い、ヴィエトナム米穀経済を長期の経済発展の中で位置づける。その分析を前提にして、第2に、投入要素の確保→農業生産→流通→国内消費・輸出といった一連の流れの中の諸局面が、それぞれの局面相互の関連性を意識しながら分析されなければならない。第3に、この一連の流れの中で、政策の役割、あるいは農業・農村をサポートする体制が議論されなければならない。

我々は以上の問題意識のもとで、研究課題をリストアップし、ヴィエトナム側との協議に臨んだ。ヴィエトナム側は、米穀経済の再生産過程を総合的にとらえるという分析枠組みについて賛意を示してくれた。ただいくつかの追加的要望がヴィエトナム側からなされ、それを取り込んだ形でテーマのリストが決まった。

そのリストは以下のBoxの通りである。ヴィエトナム側からの要望で追加された研究課題は、(このリストの中の、3-3)メコンデルタ地域における土地無し農民の問題と、6.フード・セキュリティ問題である。どちらも、現在、ヴィエトナム農業・農村の開発のあり方をめぐって論争を引き起こしているホット・イシューであり、ヴィエトナム政府が政策的対処の方向を決めるべく答えを求められている問題である。

Box 参考資料 最終的に合意された農業農村発展に関する研究課題リスト

1. ヴィエトナムにおける米穀経済の現段階
 - 1) 米生産の推移（作付け面積、単収、地域ごとにみた米生産の差違、採用品種など）
 - 2) 米消費の推移（米消費関数の推計を含む）
 - 3) ヴィエトナム米の国際競争力（国際市場の将来展望を含む）
2. 投入要素の供給
 - 1) 肥料の輸入制限の問題（肥料供給国営企業問題を含む）
 - 2) 農業・種子供給の問題（農業・種子供給の国営企業分析を含む）
 - 3) 水の供給問題（灌漑の維持管理システムを含む）
3. 米生産の構造
 - 1) 米の生産者価格の推移
 - 2) 米生産費と稲作農家の所得問題（地域別、規模別）
 - 3) ヴィエトナムの米生産の将来展望（メコンデルタの農民両極分解問題を含む）
4. 米のポスト・ハーベスト問題と流通
 - 1) ポスト・ハーベスト問題
 - 2) 輸送及び貯蔵
 - 3) 米の加工問題
 - 4) 米流通と国営企業
5. 農業サポート機関
 - 1) 試験研究と普及
 - 2) 農村金融（農業関連国営企業への信用供給を含む）
 - 3) 農業協同組合の役割
6. ヴィエトナムにおける食糧安全保障と米穀政策
 - 1) 米価政策
 - 2) 米貿易政策
 - 3) 土地政策

ただし、今回の調査研究には予算的ないし人的制約があり、リストに示された研究トピックスをすべてとりあげることはできなかった。そのため、特に緊急性の高い課題である、①米穀経済の現段階、②米生産の構造（メコンデルタの農民両極分解現象分析を含む）、③ポスト・ハーベスト問題と流通、④農業サポート機関の4つが、今回のフォローアップ・プロジェクト農業・農村部会の研究課題として設定された。投入財の供給問題、そして政策にかかわる部分は今回の直接の課題にはせず、将来に取組みられるべきものとしている。

2. 本報告の課題

本報告の課題は、以上のような経緯を経て進行したフォローアップ・プロジェクト農業・農村部会の報告をまとめることである。ただし、全般的なまとめについてはすでにヴィエトナム側主査によっ

て書かれた総括がある。このため、本報告では、ベトナム側の各報告、メコンデルタ調査、及びカントー大学の調査報告を材料にしながら、ベトナム農業・農村開発に関わる幾つかの論点を掘り下げることに焦点をおいた。具体的には、米を中心とした農業の動向、生産費の構造、所得の動き、米輸出の動向、米の流通問題、ポスト・ハーベスト問題、メコンデルタ地域における土地無し層の問題、農村金融機関及び農協育成の方向性について、経済学的分析を加えながら、また日本の経験を交えながら、分析を試みるものである。また最後には、ベトナム農業・農村の将来方向とそれにむけた政策のあるべき姿を、部分的なものとならざるをえないが、提出したいと考える。もちろん、今回のフォローアップ・プロジェクトは、過去のふたつの大型プロジェクトと将来の研究プロジェクトを結ぶものである。すべての課題を十分に論じ尽くせなくとも、この報告での作業が将来の研究課題の設定につながれば、それで任務は果たせたと考えてしかるべきであろう。

II. 米穀経済の動向

1. 米生産の動向

さてドイモイ以降、ベトナム農業はほぼ順調に成長を遂げているといえるであろう (Cuc [1]、Manh [5])。農業生産全体の成長率は過去 10 年間の平均で年 5.2 % である。この数値は、日本農業の過去 100 年の歴史の中で農業産出の成長率がもっとも高かった時期 (1955-65 年 3.6 %) よりも、実に 1.6 % も高い。1990 年代のベトナム農業の成長パフォーマンスは特筆されてしかるべきである。

ベトナム農業の成長の中心にあったのはコメの生産増加である¹。表 1 に示したように、1990 年に約 1,920 万トンであったコメ (もみ) の生産量は、1998 年には 2,910 万トンと実に 1.5 倍の成長を遂げた。この増加を年率に換算するならば、5.3 % という数字になり、農業生産の年成長率とほぼ一致する。

この間、米の作付面積は 1990 年の 602 万 ha から 98 年の 736 万 ha へと 1.22 倍に増加し、単収は、3.2 トンから 4.0 トンへと 1.24 倍に増加している。したがって、コメ生産増加への貢献度を作付面積増加と単収増加に分解して考えるならば、前者の貢献が約 48 % で、後者の貢献が 52 % となる。

さて一般的にいえば、作付面積の増加は耕地の外延的拡大と内包的拡大 (土地利用の集約度向上) によってもたらされる。ベトナムの農用地面積は、1990 年の 693 万 ha から 97 年の 827 万 ha へと年率 2.6 % の成長率で増加してきたが、水田面積は 1990 年の 411 万 ha から 97 年の 419 万 ha へとわずかに 8 万 ha の増加をみたにすぎない。つまり、米の作付面積拡大は土地の集約度の向上によってもたらされたといつてよい。

単収の増加については何よりも高収量品種 (HYVs: High Yielding Varieties) の導入が大きい。表にみられるように 1990 年時点で新品種の普及割合は 48 % であったが、この比率は 1998 年には 87 % までに高まっている。特に中国からもたらされたハイブリッド・ライスの普及度は高かったといわ

1. もちろん他の作物も大幅な増加をみている。CG 会合へのベトナム政府の報告書によれば、1997 年と 1987 年を比較して、お茶の生産が 1.5 倍、コーヒー 20 倍、ゴム 3.5 倍、豚肉 1.5 倍、鶏肉 1.7 倍というようにほとんどの作物で大幅な増加を遂げている。

れる。高収量品種の採用は、肥料の増投とあわせて土地生産性の上昇をもたらした。ただし1998年のヴェトナム米生産の単収水準はすでにタイやフィリピンのそれを越えており、今後、土地生産性の著しい増加は容易ではないと考えられる。

もちろん、米生産の増加は大きな地域差を伴いながら進行した。米生産の増加が著しかったのは、特にメコンデルタ地域である。1990年時点でメコンデルタのヴェトナム全体の米生産に占める割合は49%であったが、1998年には53%となり、その比重を4ポイント高めている。他方、紅河地域の米生産シェアは1990年の19%からほとんど変わっていない。

米の生産増加をもたらしたもっとも大きな要因は、もちろん、ドイモイによって解放された農民の生産意欲の増加である。しかし、米作をとりまく経済的条件の動きも生産増加にとって好ましいものであったことは指摘しておいてよいであろう。表2に米価 (farm gate price) と肥料価格の動きを示したが、この表から、肥料価格との比較で見た米価は年々の変動を伴いながらも傾向的には上昇してきていることが読みとれる。この相対価格の変化が、肥料の増投と米生産の増加をもたらす経済要因として作用したのである。ただし米作の賃金指数は米価ほどには伸びていない。この点はより詳細な分析が必要であろうが、農村における過剰就業が示唆されていると解釈することができよう。ただし化学肥料や農薬の投入増加があまりにも短期間で行われたため、農業の持続性、農業と環境との関係を危ぶむ声が出てきている²。

2. 米生産費の構造

続いて米生産費の構造の分析に移るが、その生産費の分析にいく前に、米価の地域性についてふれておく。表3-1、表3-2は1990年から98年までの米の価格 (unit price、したがって品質差についてはまったく考慮していない)を地域別にまとめたものである。この表から米価の地域差が極めて大きいこと、更に、地域差は1995年までは縮小してきたもののその後は逆に拡大していることが知られる。1990年時点では、全国の平均価格を100として、メコンデルタで91、北東南部で105と、最高と最低との間に約14%の開きがあった。米価の地域指数は1995年にはメコンデルタで96、紅河デルタで102となっており、地域差は縮小した。ところが1998年には、メコンデルタの89、北東南部の112という指数からわかるように、格差は23%に拡大している。紅河デルタ地域では、1990年時点で米価はほぼ全国平均の水準にあったが、1998年では110の水準であり、全国平均を10%も上回る状態となった。

この地域別価格差の要因としては、もちろん米の地域別品質格差 (註3でふれる) と生産費の構造が大きく影響しているとみられるが、他方で、流通の閉鎖性・非効率性が反映した結果なのかもしれない。ただし、国内市場の統合が進むにつれて同一品質の財価格の地域間格差は縮小するものとみられたため、1996年以降の米価地域間格差の拡大は不可解である。本報告書では、米価の地域差の拡大要因について明確な回答を与えることはできていない。データの信憑性、米密輸との関連等につき更なる検討を加えることが必要であると思われる。

続いて生産費の分析に入る (Minh [2])。表4は1996年時点での紅河デルタとメコンデルタにお

2. メコンデルタ地域では、農薬の大量使用による川魚の減少、食料の安全性への不安、化学肥料の大量投入による地力低下などについて多くの研究者が真剣に危惧している。化学肥料や農薬を使わない有機農業を実践ほとんどの作目で大幅な増加を遂げている。

ける冬-春作、及び夏-秋作の米生産費 (ha あたり) をまとめたものである。生産費の算定にあたっては、支払い利子が生産費に含まれるかどうか (あるいは自己資本利子を含めるかどうか)、農業税の取り扱いをどうするか、労働の費用をどう見るか、特に自家労働の評価をどうするかといった問題があるが、今の時点では、こういった生産費の捉え方に関する問題を処理することができていない。この点は、ヴェトナム側の生産費算定に関わる専門家との話し合いを踏まえて、更に検討していきたい。

生産費の算定にいくつかの問題があることを承知の上で、その中味をみていくことにしよう。さて1996年の紅河デルタでは、冬-春作の物財費が418万ドンとなっており、物財費の中では肥料代が187万ドンと最も大きな費目となっている (総費用の約25%)。続いて種子費用が57万ドンである。労働費、農業税、支払い利子を含む総生産費用は745万ドンで、これはhaあたり粗収入の58%となっている。費用の中の自家労働分を農業所得の中を含めると、haあたりの米作所得は758万ドンとなる。粗収益に占める稲作所得の率 (所得率) は59%となる。

同様のことをメコンデルタの冬-春作で計算すると次のようになる。物財費は347万ドンで紅河デルタの場合よりも17%も少ない。肥料の全費用に占める割合は24%であり、この比率は紅河デルタと比べてもほぼ同じ水準である。ただし絶対額ではメコンデルタの肥料投入額は3割以上少ない。総費用は559万ドンであり、紅河デルタの総費用と比べて186万ドン (25%) も少なくなっている。しかもこの生産費の費目には支払い利子が含まれており、その利子の水準がメコンデルタで16万ドンと大きくなっていることも注目される。他方で紅河デルタの利子費用はごく少ない。営農にかかる資金について、自己資本も含めて利子を計上すれば紅河デルタの生産費はもっと高くなるであろう。

ただしメコンデルタの粗収入に対する米生産費用比率は62%となっており、紅河デルタよりも高い数値となっている。haあたりの農業所得は同じく自家労働費を加えて計算すると439万ドンであり、稲作の所得率は49%ということになる。

夏-冬作については全体として生産費は少なくなる。紅河デルタで628万ドン、メコンデルタで523万ドンである。その分、収量も低くなっている。所得率は紅河デルタで57%、メコンデルタで31%となる。

総じていえば、紅河デルタの米生産費はメコンデルタに比べて約30%程度高くなっているのであるが、粗収入は45%から50%ほど高くなっている。粗収入の違いには収量の高さ (8%ほど上回る) も影響しているが、何よりも米価の違いが大きい。表の平均販売価格でみれば、両地域で、冬-春作について3割程度、夏-秋作について5割もの違いがある³。

もちろん、このようなhaあたりの米作収益性の差は、両地域における農家一戸あたりの米作所得の格差を示さない。というのは、ここでみた生産費ないし収益性はあくまでhaあたりのものであって、現実の稲作所得は農家の経営する水田面積に大きく依存するからである。かりに紅河デルタの一戸あたり水田面積を0.3haとし、メコンデルタのそれを1.2haとすれば、水稻の2期作からえられ

3. メコンデルタの米価との絡みで同地域における単収別生産費の構造を検討してみる (表4-2)。この表から、単収が増大するにつれて総費用も増大すること、しかし平均販売価格は低下することが知られる。同一の質を有する財について、これだけの平均販売価格の格差が同一地域同一時点で存在することは考えられないから、平均販売単価の差は品質の差としか考えられない。メコンデルタ地域では単収の増加を目標にして品質の劣るハイブリッド・ライスを多く生産しており、これが収量の多い生産における販売価格の低さをもたらしたとみることができる。したがって総合的にいえば、単収が増加しても、費用の増加、販売価格の低下によって米作の収益性が高まるわけではない。

る農業所得は、紅河デルタで399万ドン、メコンデルタで725万ドンとなる。メコンデルタのほうが農家の稲作所得は8割も高いのである⁴。

さて以上のような生産費の構造のもとで稲作農民の所得は改善されてきたのであろうか。この点の分析に対してはより詳細な地域別・時系列データが必要となってくる。利用可能なデータが少ないこともあって、いまの時点ではきわめて限定された分析しかできないが、おそらく以下の2点は間違いないことであろうと考える。

第1に、上述の生産費分析の示唆することは、米作には一定の収益性があるとみられることであろう。少なくとも、1996年の米価を前提にして、しかもここで分析したふたつのデルタ地帯の稲作に限って言えば、自家労働をコストとして組み入れても、稲作経営において赤字となることはない。また上で分析した所得率の水準もそう悪い数値ではない。

第2に、この10年ほどの米価の水準が年々の変動を伴いながらも傾向的にはほぼ上昇基調できたこと、及び単収の増加と作付け面積の増加が着実になされたことを考慮すれば、稲作農民の所得は改善されてきたものとみることができる。

ただし稲作所得については以下の諸点に注意を払っておかなければならない。ひとつは農産物価格は消費者物価ほどは上昇してこなかったということである。すなわち1990年を100とする指数で見ると、消費財平均では1998年に282となっているが、農産物価格は241でしかない。また食糧全体では312となっており、平均を上回っているが、食糧の中では加工食品の指数が359ともっとも高くなっている（ベトナム側資料による）。このことは、農民よりも食品加工産業のほうが価格の面で恩恵を受けたということの意味する。消費者価格全体と比較しても、農民の受け取る価格は相対的に低下している。したがって、農民の稲作所得が改善されてきたとしても、他部門の所得の伸びほどにはよくなっていないといわざるをえない。

続いて、稲作収入の農家所得に占める比重である。これはもちろん地域によって大きな差があるが、平均的にみてもそう高いわけではない。フェーズ2での農家調査では農家粗生産額に占める米の比重は、調査村によってばらつきがあるが、平均では55%であった（参考文献[11]、Appendix）。したがって、稲作を通じる農民の所得改善は限定的なものということになる。農民の貧困改善をはかるためには、兼業あるいは農業生産の多角化等、別の途を探すことが必要となる。

稲作の収益性及び稲作所得の水準は、もちろん、米価の水準に規定されるところが大きい。この数年、一種の“稲作回帰”的な現象が起きているのは米価が比較的良好な水準にあったためであろう。将来ベトナム稲作がどう動いていくかは、米価の水準次第である。そしてこの米価は、基本的には国際市場の動向によって左右されることとなる。

3. 米輸出

さて続いて米輸出の動向を検討しよう（表5参照）。ベトナムの米輸出は1990年の162万トンからほぼ順調に増加し、1998年には380万トンとなっている。輸出額も同じく1990年の約3億ドルから1998年の11億ドルへと3.7倍の増加を遂げている。主な輸出先はフィリピン、インドネシアなどの近隣諸国、あるいは中近東、アフリカである。

4. メコンデルタでは3期作が主流であるから稲作所得格差はもっと大きくなるかもしれない。ただし紅河デルタでも2期作に追加されるプラス・アルファの部分を検討しないと全体としての農業所得は算定されない。

興味深い点はヴェトナムの米輸出価格とタイ米の輸出価格との格差が次第に縮小してきたことであろう (Manh [5])。1990年のタイ FOB 平均価格は271ドル/トンであった。この時のヴェトナム米の輸出価格は170ドルで、そこには約100ドルの乖離があった。この差は品質の格差と同時に国際市場での販売力の格差でもあった。タイ米との価格差はしかし、その後急速に縮小した。1995年にはタイ米の輸出価格は320ドル、ヴェトナム米は266ドルで、その差は54ドルである。1997年には、タイ米293ドル、ヴェトナム米252ドルとなり、差は41ドルに縮小している。

輸出米の品質についてより詳しく述べるならば、高級米といわれる5%と10%ブロークン米を合わせたものの割合は1990年の約14%から1997年の44%まで高まり、他方、25%を越えるブロークン米(低級米)の割合は1990年の56%から1997年の12%へと大きく低下している (Manh [5])。全般的にあってヴェトナム米の質の向上は疑いのないところであろう。

ヴェトナム輸出米の質の改善は、輸送や貯蔵、あるいは乾燥施設といった部門への投資(まだ十分ではないにしろ)の成果でもであろう。我々の今回のカントー省調査でも乾燥機導入やライスセンター建設に対する政策的補助がなされており、政府が本腰をいれて流通加工部門の改善に取り組みはじめたという印象をもった⁵。

4. フード・セキュリティの強調

さて米の輸出ないし生産にかかわるヴェトナム政府の近年の態度についていうならば、それはフード・セキュリティの強調ということになるであろう。この点を以下の2点に絡めて説明する。

第1は、ヴェトナムにおける食料の需給バランス式から示される考え方である。ヴェトナムにおける一人あたり食料供給は、米について言えば、次の式で算定される。すなわち、

$$\text{国内供給量} = (\text{総生産量} - \text{ポスト・ハーベスト・ロス} - \text{輸出} - \text{備蓄} - \text{種子} - \text{飼料})$$

$$\text{一人あたり米供給量} = \text{国内消費量(もみ)} * \text{精米率} / \text{人口}$$

である。ポスト・ハーベスト・ロスはヴェトナム全体の平均で13-16%となっており、輸出には密輸(中国中心)部分の推計値も含んでいる。精米保留率は地域によって異なるが全国平均では65-68%程度である。ヴェトナムにおけるフード・セキュリティとは、この式における優先順位が、1. 国内供給、2. 飼料、3. 種子、4. 備蓄となっており、最後の5番目に輸出がくるという点に表現されている⁶。

フード・バランス・シートは8つの地域別に作成されている。それぞれの地域で、一人あたり米供給量の水準を非農業地帯で230kg、農業地帯では300kgという具合に決めておき、生産量がこの部分を越えた時に初めて域外輸出を行う⁷。

5. 我々のメコンデルタ調査(1999年3月)で得たヴェトナム政府の流通・加工施設改善施策の一端を紹介すると、米乾燥施設購入への融資増加、ライスセンターの建設(1996年6月よりスタート)、デンマーク政府の無償の援助による精米施設の建設(Danidaプロジェクト)等があげられる。

6. 農業省及び投資・計画省農業局の専門家との協議の場での説明による。備蓄、飼料等の必要量をどう算定しているかは定かではない。

7. 当然ながらフード・セキュリティに対する考え方は地域によって異なる。全般的な印象で言えば、フード・セキュリティの考え方は北部ないし中部の食料不足ないし生産不安定地域の考え方を代表しているようである。メコンデルタではまた違った考え方の人が多いように見受けられた。ヴェトナム農業を全体として表現すれば、ここにはsubsistent farmingとcommercial farmingが混在している状態といえるであろう。

なおヴェトナムにおける地域性は歴然としており、全国一律の農業政策は不適當である。農業省(MARD)は、全国7つの地域の特性を考慮し、それぞれの地域に応じた農業政策を導入しようとしているが、それは当然のことであろう。

第2は、昨年におけるフード・セキュリティを理由とした輸出クオタの削減である。ヴェトナムは1998年における米生産を2800万トンと見込み、輸出量を400万トンと計画していた。一人あたりの米生産量は397kg(モミ)で、うち85kgを輸出するという見込みであった。ところが、1998年の上半期には干ばつの影響で米生産が予想よりも70-90万トンほど少なくなってしまった。国際市場ではインドネシアの政情不安等があつて需要が多く、輸出国には好都合な状態にあつたといわれる。ただこの状況下で米輸出を計画通りに進めるならば、国内市場で米価が高騰するおそれがあつた。結局、ファン・パン・カイ首相は4月に指令を出し、米輸出を一時停止させ、国内への供給を優先させた。

以上の2点は、ヴェトナムが理論上だけではなく、実際上も国内への食料供給を優先させていることを物語る。ただ、フード・セキュリティが国家にとって重要であるとはいえ、自給優先で、余剰がでて初めてそれを販売にまわすという考え方は、市場経済の思考様式にはなじまないのではないか。ヴェトナムが食料の輸出国としての信任を国際市場の場で得るには、フード・セキュリティを過度に強調することは得策ではないように思われる⁸。

Ⅲ. 米の流通及びポスト・ハーベスト問題

1. 米流通

ドイモイ以降、米の流通はかなり自由化されたといえるであろう。ヴェトナム側資料によれば、1998年現在で米の国内流通に関する限り何の規制もない。結果として、米の流通には、国営企業、民間商人、精米業者、農民等が参加し、百花繚乱的な競争状態となっている。

ヴェトナム側提出報告によれば(Manh [5])、国営食糧公社には中央レベルに属するものと地方レベルに属するものがあり、前者としてはVINAFOOD I及びVINAFOOD IIがある。後者には、各省にひとつの食糧公社があり、貯蔵から小売りまでを担当している。ただし、総国内需要に対する国営企業の比重は次第に小さくなってきている。他方で、民間企業が都市間のネットワークを利用しながらそのシェアを高めている。農村ではtradersや小規模精米業者が95%の比重を占めて地域の米需要に應じている。

マーケティング・チャンネルについては、地域によって、また取り扱う米の量や、輸出向けか、国内向けかによってさまざまなものがありうる。ヴェトナム側の報告書では、流通するもみの量が小さい地域と、メコンデルタのように大きな量を取り扱う地域で違った形態がみられるということである。すなわち、前者では依然としてtraditional marketing channelによるもみ流通が行われている。これは、農民の市場への直接販売、あるいは農民から商人・集荷業者・卸売り業者へのもみ販売(国営集荷エージェントを通じた集荷もある)を通じた流通であり、集荷されたもみは地域の食糧公社ないし精米業者を通じて、地域の小売市場へ流れていく。

大規模なもみ流通地域では、民間及び国営の集荷業者が農民からもみを購入し、これが地域の精米

8. ヴェトナムでは農業問題の議論の際にはこのフード・セキュリティの重要性が例外なく語られる。また、1998年10月には国家食料安全保障委員会が発足して、食料の確保を最優先するための諸方策がまとめられることとなった。

業者を経由して、地域の大規模精米業者ないし加工業者へわたり、輸出あるいは卸・小売りへと続く太いルートが出来上がっている。

さてこのような米の流通については、それが効率的になされているかどうかの評価が必要となる。しばしばいわれるように、途上国の農産物流通は、情報の偏在と、市場の分断を通じて、情報のネットワークを有する商人が大きな利益を手に入れることがある。例えば、消費市場における価格の上昇が、なかなか生産者のもとへは届かず、その利益が中間の流通業者に独占されているのではないか。逆に、消費市場での価格低下はすぐに農民の庭先価格にはねかえり、農民の所得の低下をもたらすのではないか。こういった問題の分析には詳細な市場データが必要となり、直ちにここで答えをだすことはできない。ただひとつの情報として、消費者の支払う米価のうちどの程度が稲作農民の手取りとなるかを示しておこう。

表6はメコンデルタ地域の国内販売用米の流通にかかるコスト、マージン等をまとめたものであり、計算の基礎になった数字は1998年時点のものである。この表によれば、小売価格の74%が農民の手取りであり、流通・加工コスト13.5%、マージン12.2%となっている。ただし特定時点・特定地域のデータから、米流通の効率性をどう判定するかは難しいところである。流通コストやマージンの数値は、扱う米の品質、販売先、その時々市場動向によって変わってくるからである。ただ比較のために別の文献の数字を出してみよう。Khiem and othersは1995年時点での輸出米に関する流通コストとマージンを計算しているが、その計算によれば、輸出価格に占める農民の手取り分は66%、コストが24%、マージン9.7%となっている(Khiem and others[13])。また、IFPRIの調査では([14])、红河デルタの農家庭先価格は小売価格の83%、メコンデルタでは71%となっており、CTU調査の数字とそう大きく違ってはいない。

上の表の数字からみれば、流通加工のコストとマージンはそう大きくはなく、流通市場が非効率的とは判定できない。また流通・加工の過程において商人や業者が独占力を行使して中間搾取をしているとも思えない。だからといって効率的とも判定できないであろう。一般化するには他の時点での計算も含めて、なお多くの分析が必要であろう。

2. ポスト・ハーベスト問題

ポスト・ハーベストレスの大きさは衝撃的である(Vu[4])。データはいささか古いものであるが(1992-1994年)、収穫時に1.3-1.7%、脱穀時1.4-2.1%、乾燥調整で1.9-2.1%、輸送1.2-1.5%、貯蔵3.2-3.9%、もみすり4.0-5.0%、全体で13.0-16.0%のロスが生じている。ヴェトナム全体で2,900万トンのもみ生産が行われていると仮定すれば、ロスは実に380-450万トンに上る。1ポイントの改善で約58万トンのもみが救われるのである。ロスの主なものは流通加工あるいは保蔵施設の質の悪さに起因するもので、具体的にはネズミ等の虫害、高湿度の中での劣化がロスの主要要因となっている。

ただし、ヴェトナムにおける加工流設備の改善も、前節でふれたように、一定の割合で進んでいるとみられる。したがって、新しいデータのもとでポスト・ハーベスト・ロスを計算するならば、また違った数字が得られるかもしれない。ここは今後更に調査されるべき課題であろう。

ポスト・ハーベスト問題の解決のためにはもちろん、ヴェトナム側の報告書で述べられているように、問題の重要性を認識した上で、流通加工施設や保蔵施設への投資をおこなっていくことであろう。なおヴェトナム側報告書では、食糧の保蔵加工は民間に任せるべきこと、農家及び農家グルー

ブに適合した小規模技術の開発をすすめることといった興味深い提言が含まれている。またポスト・ハーベストに関する経済活動を、農村経済の安定的発展（雇用の提供、農村産業の多角化）という視点から評価し直すべきことも指摘されている。これも重要な指摘であろう。

IV. メコンデルタ地域における土地なし家計・土地不足家計の問題

1. 土地なし家計・土地不足家計の現状

メコンデルタ地域には399万haの土地があり、そのうち農地が282万haとなっている。ここに235万戸の農家が存在しているから、一戸あたりの農地面積規模は平均1.2haとなる。一戸あたりの農地面積規模は現在の日本とほぼ同じレベルであるが、ヴェトナムの他の地域と比べると、恵まれた地位にあることはいうまでもない。ちなみに一戸あたり平均規模は紅河デルタに比して4倍以上となっている。

これらの数値を頭において、近年深刻さを増しているといわれるメコンデルタ地域の土地なし農家の問題を考察することとしよう。

さて、1994年のヴェトナム政府調査では、ヴェトナム全土での土地なし農民の数は約11万戸（農家全体の約1.2%）であった。メコンデルタ地域では土地なし農民（農地規模が300㎡未満）の数は1994年に12,000戸であり（表7参照）、その全農家に占める比率は、全国の比率よりも低い0.7%であった。またこの年での土地不足農家（農地面積規模が0.2ha未満）の数は108,000戸であり、その比率は6.2%であった。ところが、1998年には、土地なし農家の数は135,000戸（全体の5.7%）、土地不足農家は208,000戸（約8.7%）にまで増加している（表8参照）。これらの数字は、メコンデルタ地域でこの4年間に生み出された土地なし層ないし土地不足層の数の大量性を示すものである。土地なし層はこの4年間に約12万戸増加し、土地不足農家は10万戸の増加をみている。

さてメコンデルタにおいて（といっても類似の現象は程度の差はあれ、他の地域でも進行しつつあるといわれる）、近年なぜ土地なし農民ないし土地不足農民がかくも大量に生み出されてきたのであろうか。かれらはどういう性格の農家なのか、どうやって生計をたてているのであろうか。こういった疑問がわいてくるのは当然のことであるが、ヴェトナム政府はこの問題に対して極めて神経質になっており、利用できるデータも限られている。ここでは、ヴェトナム政府がハノイの国立経済大学に委託した調査結果（Nha[3]）の紹介を中心にして説明を行っていきたい。その他に、我々がカントー省を中心に行っている農家調査の過程でえられた資料や、関係機関での聞き取りで得た情報も説明の材料とするつもりである。

さて国立経済大学の調査は、ヴェトナム農民会（Viet Nam Farmer Association）との共同で、1997年から1998年にかけてなされたものである。メコンデルタ地域における12の省から、24のdistrictを選び、更にひとつのdistrictからふたつのcommuneを、またひとつのcommuneから3つのhamletを選んでいく。全体として144のhamletが選ばれ総計5,471戸の農家が調査された⁹。

この調査結果によれば、土地なし農家と土地不足農家の実情は次のようなものである。

9. この調査結果については国立経済大学のNguyen The Nha教授から資料提供と説明を受けた。

まず土地なし層についてであるが、土地なし層の数は1998年時点で4年前(1994年)と比較すると87%もの増加をみている。全農家世帯に対する土地なし層の比率は13.8%から19.7%へ高まった。土地なし農家は平均5.0人の家族、2.6人の労働力を抱えている。この層に占める少数民族(Kh'me)の比率はかなりになる。例えば土地なし農家に占めるKh'meの比率は19.7%である。

土地なし農家の大半が雇われており(73%、我々のカントー省での聞き取り調査ではほとんどが農業労働者として雇用されているということであった)、農業専業、あるいは農業と他の業種の兼業という形態は少ない。一戸あたり年間所得は514万ドンで、労働力一人あたり所得は月16万ドンとなっている。家族一人あたりでは月8.6万ドンの所得であり、土地なし農家のほとんどが極度の貧困に喘いでいるといえよう。

土地不足層は4年前に比べて約55%の増加をみている。平均して農地を0.14ha保有している。生産手段の保有額が、土地を十分にもっている農家と比べて極端に少ない(比率で約8%)。1997年時点で銀行からの負債がある農家は数としては多くない。しかし約41%の農家が借金を持ち、その平均額が約250万ドンという状態であった。ただしこの比率は省によって大きなばらつきがあるということである。借入金の約半分が政府銀行からのものである。平均年間家計所得は598万ドンで、もちろん土地なし農民よりは所得は高い。農業からの所得は約24%、自営業から9%、その他が56%である。就業形態としては農業+雇用という形態が多い。

参考までに、上述のふたつの層に含まれない農家(すなわち土地を0.2ha以上保有している、具体的には、1ha未満13%、1-3ha44%、3ha以上43%)の平均的年間所得は2,339万ドンとなっている。土地なし層及び土地不足層との所得格差の大きさには驚かされる。ただこの土地保有農家も借入金はかなり保有していて、その額は1997年で平均480万ドン(72%が政府銀行から)となっている。この層の農家は生産施設(農業機械、運送手段、農業建物)を多く保有しており、借入金が生産用途に使われたことを示唆しているということである。

2. 土地なし家計・土地不足家計析出の経緯

続いて土地なし層ないし土地不足層が大量に析出された経緯についてである。これについても上述の調査の結果が有用である。全体で6点が指摘されている。

第1は、金融を介する土地喪失である。フォーマルな金融機関、あるいはインフォーマルな貸手からの借入金が返済できず、担保としての土地利用権証書を失うというケースである。約36%の農家がこの理由で土地を失ったと答えている。資金を返済できなくなった理由は多様であり、農業に対する意欲の欠如、知識の欠如、病気、事故、浪費といった様々の理由がある。省別にみれば、Soc Trang省、Vinh Long省、Can Toh省でこの理由による土地喪失比率が高くなっており、それぞれ51%、42%、43%となっている。

第2の理由としては、子供への土地利用権譲渡に伴う農地規模の縮小ということがあげられる。これは約24%を占め、Tien Giang省やLong An省で比率が高くなっている。人口増加圧力がもたらす土地所有の細分化ということなのであろう。

第3の理由は、ヴェトナム戦争終結後の土地再配分によって取り上げられた農地を元の地主が取り返したことからくる土地なし層ないし土地不足層の増加である。全体として9.7%の比率を占め、特にSoc Trang省でこの割合が高い(28.8%)。また、An Giang省で17.8%、Can Toh省で17%となっている。

第4に、外部からの移住による農地規模の縮小ということがあげられる。比率は3.9%となっている。例えば Bac Lieu 省と Ca Mau 省では、北部からの貧困農民の移住によって、1994年から1997年にかけて農家数が169千戸から255千戸へと大きく増加し、結果として零細規模の農民が増加した。

第5に、農民が一度移住した土地を捨てて、もとの土地へ戻りそこで土地なし農民となるケースがあげられる。例えば Dong Thap Muoi や Ca Mau 山脈に新経済地区を設けそこに人口稠密な地域から住民を移住させるといった政策がとられるが、生産インフラが何もない、生活が不便すぎるといった理由で、移動させられた人々がもとの土地に帰ることがある。ただし、もとの土地に戻っても利用できる土地はもはやないということで、landless 化することになる。

第6に、公共事業（道路、公共施設などの建設）に伴い農地を失うケースである。農民はこの場合、土地利用権を手放す代わりに金銭的補償を受けるが、代替地はほとんど手に入らず、やはり土地無し層となる。

3. 政府の対策

以上が国立経済大学を中心とするチームがまとめた土地なし層ないし土地不足層増加の現状とそれに至る経緯である。我々のカントー省人民委員会での聞き取り結果もほぼ同じ内容を示すが、少し内容が異なるため、ここで特に紹介しておく。

まずカントー省の土地なし家計の数は約24,000戸であるが、そのうちの約10,000戸ははじめからの土地なしである。

ところで土地なし層ないし土地不足層には大まかに言って2種類がある。

ひとつはヴィエトナム戦争後分配された土地を、1993年の土地法制定に伴い元の地主に事実上返却した農民である。政府は生産性確保のためそれを奨励しているが、これは過去の過ちを認めることであり、政府関係者はあまり公表したがるまいということであった。土地を返却した農家は配分された土地を失い、保有する土地としては、わずかな面積の土地しか残らない。カントー省では約6,200戸の農家がそうした経緯で土地を失った。

もうひとつのタイプは、資金返済ができず、土地を銀行やインフォーマルな貸手への担保として取られたもので、約2,600戸の農家がそういった経緯で土地を失った。

ここでの聞き取り調査はカントー省に関するもので、上述の国立経済大学調査はメコンデルタ全域をカバーするものであるから、数字に違いがでてくることは避けられない。ただしカントー省の人民委員会での聞き取りの中で注目されるのは、元地主による土地取り戻しの比率が金融を通じた土地喪失の比重よりも大きく出ている点であろう。この差異は大きく、どちらがより真実に近いかという点は今後の研究の中で詰めていかなければなるまい。

ともあれ、こういった聞き取り結果と上述のハノイ経済大学の調査結果をあわせて考えると、メコンデルタ地域における土地なしないし土地不足農家の折出ということは、金融を媒介にした土地の移動と、過去における土地政策の影響という2点が主要な要因となっているといえよう。金融を媒介にした土地の移動はその背後に土地の集積を図る大規模農家の存在があることはいうまでもない¹⁰。メ

10. ここはメコンデルタの農業における規模の経済の存在を示唆する。この点については更に研究を進めていかなければならないが、メコンデルタ農業では近年急速な機械化が進行しつつあり、規模の経済の存在は確実視される。ただこの点は更なる調査研究を行う必要がある。

コンデルタでは土地の売買は極めて活発になされているということであった。ただし、ヴィエトナム政府は土地を商品取引の対象とみていないし、土地法での規模の限度が3 ha に設定されていることもあって、土地取引はアンダーグラウンドでなされているとのことであった¹¹。

政府は土地政策の失敗が原因となった土地なし家計ないし土地不足家計に対しては、離農し他の職業につくように支援している。例えば、小さな農地を売却したり、あるいは銀行から融資を受けて資金を捻出し、それを元手にして新しい商売を始めることができるように支援している。その資金援助の方策として、Fund for Creating Job というプログラムがあり、融資条件は月利0.1%、最大3年間の返済期間となっている。これは労働省が各省へ配分する資金を、ヴィエトナム農業農村開発銀行 (VBARD) とヴィエトナム貧民銀行 (VBP) とが代行する形で融資しているもので、借入者は事前に詳細な資金利用計画を立て銀行の審査を受けなければならないこととなっている。

また金融を通じて土地を失った農民に対しては、同じく VBARD と VBP が5年間の融資を与え土地の買い戻しをすすめている。ただこの融資政策は、資金回収率の悪化が見込まれ、批判の対象となっている¹²。

なお土地利用限度は先に述べたように、現在3 ha であるが（これは1年生作物の場合、永年生作物の場合の限度は10 ha となっている）、最近の国会で3 ha から5 ha へ引き上げる法案が審議されたが、結局否決された¹³。

この問題をどう考えるかは難しいところであるが、関連することとして日本農業の今までのあり方から示唆されることを2点ほど述べておきたい。

第1に、日本農業ではこの30数年、規模の零細性というアジア的特質の打破を掲げてむしろ分解促進的な政策がとられてきた。ヴィエトナムでも一定規模を越える生産性の高い農業を（少なくとも将来のどこかで）育成することを考えておかなければならない。そういった長期的視点の中で土地問題を考えるべきであろう。

第2に、兼業農家のもつイメージを変更したほうがよいのではないかと思われる。日本では一定の農地を保有しながらも主要な所得源泉は非農業という兼業農家は多いし、実のところそういった兼業農家こそが現在の農村の主流的な存在である。しかも兼業農家は日本では（地域差はもちろんある）経済的には比較的恵まれており、安定した存在でもある。兼業農家の存在が農村社会の安定に寄与していることはいうまでもない。ヴィエトナムで語られる土地なし層あるいは土地不足層のイメージはきわめてネガティブである。このイメージを拭って、零細規模ではあるが兼業と組み合わせることで比較的安定した経済的基盤を有する兼業層をどう作り出すかという視点から、この問題に取り組んではどうであろうか。

-
11. 我々のカントー省での聞き取りによれば、水田価格は1 ha あたり50-100百万ドンといわれる。なお法律で定められた土地利用権の最大限度は3 ha であるが、実質それを越えている農家は多数存在する。
 12. カントー省人民委員会での聞き取りによれば、土地喪失農民に対して農地を買い戻すための融資を行っており、この方法によって土地なし農民（ないし土地不足農民）の割合は1998年には2%低下したということである。しかし landless に対して、信用の供給による土地買い戻しといった政策を行うことにはよほどの慎重さが必要とされよう。いうまでもなく信用は creditworthy な層に対して供給されるべきであって資金回収率の悪化を最初から見込んだ貸出政策などはあってはならないからである。
 13. ヴィエトナム共産党政治局の発表した決議 (06/NQTU, 11月10日, 1998年) によれば食料の安全保障、農村での雇用創出、協同組合の振興等の項目と並んで、土地の集積は国家が厳格にコントロールする事が明記されている。

V. 農業・農村サポート機関

1. 農村金融機関

ヴェトナムの農村金融は引き続き順調に発展してきているといえるであろう。ヴェトナム農村金融の中心的な位置にあるヴェトナム農業・農村開発銀行（VBRAD、以下農業銀行と略）の業務をとってみれば（Annual Report 1997、Tiem[6]）、貸出額の伸びは、1995-1996年で25%、1996-1997年で26%となお高いレベルにある。預貯金についても与信とほぼ同じ水準で増加してきている。

ただし問題がないわけではない。以下でとりあげる3つの問題は今後のヴェトナム農村金融の展開にとって重要性を有するものであり、深い議論が望まれるものである。

第1の問題は不良債権である。農業銀行に関する限り表面的な延滞債権の比率はそう深刻なものではない。新聞記事に掲載された1998年末の延滞債権比率は、農業銀行の場合5.4%であり、国有銀行平均の9.4%という数字、あるいは、商業銀行平均の16.7%よりはかなり低い数字となっている。また1997年の年次報告書において示された不良債権比率は0.6%である¹⁴。農業銀行の場合、凍結負債（frozen debt）という名称での不良債権があるが¹⁵、1997年時点でこの比率は2.9%であり、数字が信頼できるものとすれば、そう深刻なものとはいえないであろう。問題となるのはリスクジュールを通じた不良債権である。リスクジュールされた債権の金額は、いわば隠された不良債権であり、年次報告書には登場しないし、聞き取りにおいても数字が得られることは少ない。ただしいくつかの周辺事項を考慮するとリスクジュールはかなり頻繁に行われていると思われる。例えば台風等の自然災害による債務返済繰り延べはごく自然に行われている。前節でもみた土地無し層への「また貸し」もひとつの証左となるであろう。債務不履行の場合の農業銀行による土地利用権証書の競売もほとんどなされていない。公的金融機関が農民の債務不履行に対して強制的な手段で望んでいるとはどうも思えないのである。

こういった周辺事情から判断して、ヴェトナム農村金融ではリスクジュールが横行しているのではないかと思えるのであるが、この判断が正しいとすれば、これはヴェトナム農村金融の今後の進展に対して暗い影を投げかけるものである。金融の発展にとって、借りたものは返すという金融規律（financial discipline）の存在は決定的に重要である。リスクジュールの横行が金融規律にネガティブな影響を与え、ヴェトナム農村金融の発展を根底から掘り崩すことになる可能性すら存在する。農村金融におけるリスクジュールの実態把握を進めるとともに、安易なリスクジュール政策を見直すべきであろう。

第2の問題は、農業銀行に続く第2の農村金融機関をどう育成するかという問題である。現在のところ人民信用基金（People's Credit Fund: PCF）が第2の農村金融機関として位置づけられる。ただし、今回のヴェトナム側報告書によれば、PCFには経営管理の弱さ、中央政府及び地方政府のサポートがないといったことで、その浸透が進んでいないということである。PCFという機関を

14. これは、もろもろの報告を考慮していれば過小な数値であろう。

15. 凍結負債は、その元本について国家銀行が保証しており、農業銀行の経営を圧迫する要因にはならない。

農村金融機関としてどう位置づけるのかについてベトナム政府としても確固たる考えを示す必要がある。この点で言えば、今後育成していくことになる農協金融事業の位置づけを、PCFとの関係を含めて、明確にしていくべきであろう。

いずれにしても、農村金融が農業銀行という公的金融機関によって独占されるという事態は好ましいものではない。第2の農業・農村金融機関として、より民間ベースの金融機関が必要とされる。

第3に、農村における貯蓄動員の不十分が指摘される。この点は第2フェーズの報告書で述べられたことであるが¹⁶、やはり農村への貯蓄機会、貯蓄施設の拡大が必要とされるであろう。小口の預貯金を集めることが金融機関の利益につながるようにインセンティブを組み込んだ利率（預貯金利率と貸出利率）の構造を作り出すことも必要であろう。

2. 農業協同組合

農協については、1996年の協同組合法の成立以来、かつての合作社を農民へのサービス機関に変えていこうとする試みがなされてきた。ベトナム側レポートによれば（Tiem[6]）、1998年末で8,000の旧合作社が協同組合法に基づく農協へ転換した。また農協のレベルまでいかなくとも、生産小組合は各地に設立されている（特にメコンデルタ）。したがって協同組合の育成について進歩がなかったわけではない。ただし、新たに設立された農協の数は多くない¹⁷、農協による事業展開に目立ったものができたわけではない。農協の育成は遅々としているという印象は否めない。

農協の育成に関しては、人材不足、資金不足、政策の遅れ等の問題があるし、旧合作社のもっていた負のイメージという問題もある。ベトナム政府は、時間をかけながらこれらの問題を処理していこうとしているように思われる¹⁸。新しい協同組合法の理念が組合員の自主性に基づく協同組合の設立ということに力点を置いていることを、政府としても尊重しているということもあろう。

他方で、ベトナムでは協同組合法の成立を受けて、新しい協同組合に対する期待が膨らんできていることも確かである。CTUのメコンデルタ調査によれば、農協が必要と答えた農民は全体の59%を占め、特に必要ないという農民の割合11%を大きく越えている。この数値からいえば、農協が農民の抱える問題の解決に役立つことを示すことができれば、農協へ参加する農民の数が多くなると判断される。

ここで問題なのは農協の育成に対する政府の役割である。現在ベトナム政府がとっている農協育成政策はいわば「待ちの施策」のように思える。我々は農協育成という点に関して、もう少し積極的な政府の施策があってもよいのではないかと考える。そのためには、第1フェーズで提言された既存の合作社整理に関する政府の大胆な関与¹⁹ということも必要となつてこよう。また第2フェーズで提案されたモデルとしての「農業協同組合情報センター」の設立²⁰も真剣な考慮に値すると思われる。

16. この点はフェーズ2の報告書でも指摘している。拙稿[12]参照。

17. CTUへの委託調査では、農協に参加している農民の割合は7%にすぎない。

18. 農協の育成に対するベトナム政府の施策は漸進主義とみなされる。合作社についての負のイメージはまだ拭い去ることができず、政府のイニシアティブのもとでの農協育成策はとれていない。

19 文献[10]。

20 文献[11]。

VI. ヴィエトナム農業・農村発展の新方向

最初に述べたように、1990年代のヴィエトナム農業の成長率は極めて高いものであったが、各国の農業発展の長期動向をみれば、こういった高い成長率が次の10年間も持続するとはとうてい思えない。耕地面積の外延的拡大はもはや限界にきているし、単収増加も今後はそう多くを期待できない。また化学肥料や農薬漬けの農業に対する反省の機運もでてきている。産出量の量的拡大を目指してきたヴィエトナム農業の方向は今後大きな転換を迫られることとなる。

新しい方向性のひとつは、農業生産における質あるいは付加価値面での改善を図ることであろう。輸出米の質の向上は著しいが、全般的にいてヴィエトナムの農産物の質にはまだまだ改善されるべきところが多い。こういった方向にとって、流通・加工施設やマーケティング力の重要性に対する政府の認識が高まってきたことは好ましいことであろう。ただし、商業的農業への転換、国際市場への進出を本気で考えるならば、自家消費を第一に考え、余ったものを輸出にまわすという考え方に変更を加えるべきであろう。

この点との関連で言えば、原が強調するように（原洋之介[15]）、経済発展における商人の役割を再認識することが必要であろう。商人の役割はかつての社会主義経済のもとでは非生産的とみなされていたが、実は「自らの費用とリスクの下で各種の有用な経済情報の収集を行い、お互いに接触のない多数の生産者と消費者を結び付ける仲介機能を果たす役割」（原[15]、p. 2）を有するものである。ヴィエトナムではこの仲介役が決定的に欠けている。

第2には、すでに言い古されたことではあるが、これまでの米のモノカルチャ的な状況からの変革という方向があげられる。つまり農業生産の多角化がなによりも求められるのである。この多角化の方向をより具体化するためには、国内市場及び国際市場での需要の動向をきちんと見据えることが必要であろう。かつて日本が経験したように、経済発展に伴う食生活の変化は急激にやってくる。ヴィエトナムは国内の食料消費の動向に対して概して無頓着であり、分析のための消費データが決定的に少ない。

以上のようなふたつの方向性にとって、1998年にヴィエトナム政府が打ち出した農業重視政策は当を得たものであると思われる。この農業重視政策は、東南アジアの通貨危機以降の農業見直し機運に乗ったものであるが、ヴィエトナム農業の将来にとって重要なものとなる。新聞報道によれば²¹ 1999年の農業関連投資は前年よりも7割増しになり、灌漑や給水施設などのインフラ整備、農村金融の拡大等が計画されている。

メコンデルタの土地なし層・土地不足層にみられる農村の貧困問題対策も極めて重要である。この問題は、もちろん長期的には農村における雇用機会の創出ということから解決を図っていかねばならない。しかし農村にあふれる過剰人口は一朝一夕にはなくなるわけではない。今後ともヴィエトナム政府はこの問題への対策に悩むこととなる。

21. 日本経済新聞1999年1月4日の記事による。

引用文献

- [1] Nguyen Sinh Cuc, "The State of Vietnamese Rice Economy," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [2] Le Van Minh, "Structure of Rice Production in Viet Nam," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [3] Nguyen The Nha, "Producing Status and Life Style of Landless and Lack of Land Household in Mekong Delta River," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [4] Nguyen Kim Vu, "Issues of Post- harvest in Rice Production of Viet Nam," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [5] Nguyen Tien Manh, "Rice Market in Viet Nam," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [6] Nguyen Van Tiem, "Strengthening the Service Institutions Supported the Agriculture and Countryside," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [7] Phan Doanh, "The Summing up," paper submitted to the follow-up project, 1999.
- [8] Mai Van Nam and others, "Distribution, Processing and Marketing of Rice in the Mekong Delta, Viet Nam," paper submitted to JICA, 1999.
- [9] Le Khuong Ninh and others, "Rural Credit Systems in Cantoh and Tiengiang Provinces, Viet Nam," paper submitted to JICA, 1999.
- [10] "Summary of the Studies on Agricultural and Rural Development," in The Economic Development Policy in the Transition Toward a Market-Oriented Economy in the Socialist Republic of Viet Nam, Vol. Agricultural and Rural Development, MPI and JICA, 1996.
- [11] Yonosuke Hara and Seiji Shindo, "Agricultural and Rural Development," in Study on Economic Development Policy in the Transition Toward a Market-Oriented Economy in Viet Nam (phase 2), Vol.1 General Comments/Agricultural and Rural Development, MPI and JICA, 1998.

- [12] Yoichi Izumida, "the State of the Art of Rural Finance in Viet Nam," in Study on Economic Development Policy in the Transition Toward a Market-Oriented Economy in Viet Nam (phase 2), Vol.1 General Comments/Agricultural and Rural Development, MPI and JICA, 1998.
- [13] Nguyen Tri Khiem and others, "Viet Nam Rice Economy", Cantoh University, University of Agricultural and Forestry and Hue University, 1996.
- [14] IFPRI, Marketing Constraints on Rice Exports from Viet Nam, 1996.
- [15] 原洋之介「グローバル資本主義とヴェトナム経済」『インドシナ開発問題研究会報告書』所収、財政経済協会、1999年。

表1 ヴィエトナム米生産の推移 (1990年-1998年)

Year	Rice Planted area 1000ha	Rice Production 1000t	Land Productivity ton/ha	Planted area of New Varieties 1000ha	Ratio of new varieties %
1990	6027.7	19225.1	3.19	2860.8	47.5
1991	6202.7	19621.9	3.16	3234.5	52.1
1992	6475.4	21590.3	3.33	3809.9	58.8
1993	6559.4	22836.3	3.48	4144.4	63.2
1994	6598.6	23528.2	3.57	4722.0	71.6
1995	6765.6	24963.7	3.69	5153.6	76.2
1996	7008.8	26396.1	3.77	5800.3	82.8
1997	7099.7	27523.9	3.88	6177.3	87.0
1998	7362.4	29141.7	3.96	6420.5	87.2

出所：ヴィエトナム側報告書による
注：1998年の数値は暫定値である

表2 米価及び肥料価格の推移 (1990年-1998年)

Year	Rice price national average dong/kg	Fertilizer price nat. average dong/kg	Price index of rice	Price index of Fertilizer	Relative price index	Wage rate in rice production dong/workday	Wage index	Amount of fertilizer use kg/ha
1990	550	1030	100	100	100	10500	100	124.6
1991	1298	2040	236	198	119	20300	193	132.4
1992	1300	2135	236	207	114	21700	207	129.5
1993	1168	2214	212	215	99	22400	213	121.6
1994	1352	2336	246	227	108	23450	223	136.0
1995	1957	2439	356	237	150	24500	233	140.7
1996	1857	2540	338	247	137	26700	254	142.5
1997	1500	2628	273	255	107	22400	213	151.3
1998	2200	2630	400	255	157	24500	233	153.1

出所：ヴィエトナム側報告書による

- 注：1) 売価は単価 (unit price) をとっている
2) 肥料価格は尿素肥料をとっている
3) すべて1990年を基準とする指数である
4) 肥料の使用量は稲作生産に使用された化学肥料の使用量である

表3-1 米価の地域差

Year	Whole country dong/kg	North mountain and midland dong/kg	Red river delta dong/kg	North central coast dong/kg	South central coast dong/kg	Central highlands dong/kg	North East South dong/kg	Mekong river delta dong/kg
1990	550	550	550	551	550	549	580	500
1991	1298	1300	1299	1350	1352	1345	1400	1200
1992	1300	1315	1309	1345	1350	1343	1416	1205
1993	1168	1210	1180	1200	1210	1216	1407	1080
1994	1352	1403	1400	1410	1409	1419	1530	1290
1995	1957	2000	1990	2010	1987	1989	2050	1870
1996	1857	1950	1860	1873	1890	1900	2000	1750
1997	1500	1600	1630	1553	1580	1599	1715	1349
1998	2200	2400	2410	2350	2315	2349	2465	1950

表3-2 米価の地域差 (全国平均を100とする指数)

	Whole country	North mountain and midland	Red river delta	North central coast	South central coast	Central highlands	North East South	Mekong delta river
1990	100	100	100	100	100	100	106	91
1991	100	100	100	104	104	104	108	92
1992	100	101	101	103	104	103	109	93
1993	100	104	101	103	104	104	120	92
1994	100	104	104	104	104	105	113	95
1995	100	102	102	103	102	102	105	96
1996	100	105	100	101	102	102	108	94
1997	100	107	109	104	105	107	114	90
1998	100	109	110	107	105	107	112	89

出所：ヴェトナム側報告書による

表3-3 米作賃金

1990	10500	9300	9500	9120	9015	11300	11400	12350
1998	24500	20340	22030	20039	20000	25470	26348	27420

表3-4 米作賃金の地域差 全国平均を100とする指数

1990	100	89	90	87	86	108	109	118
1998	100	83	90	82	82	104	108	112

注：すべてヴェトナム側資料による

表4 米生産費の構造 (紅河デルタとメコンデルタ、1996年)

(単位: 1000ドン/ha、その他)

item	Red river delta			Mekong river delta		
	冬-春	夏-秋	平均	冬-春	夏-秋	平均
Material costs	4177	3202	3769	3466	3014	3199
seed	567	502	540	536	539	536
fertilizer	1866	1169	1575	1353	975	1150
share of fertilizer:%	25	19	22	24	19	21
water	377	315	351	375	324	348
depreciation	107	106	106	45	41	43
Labor costs	2497	2487	2553	1376	1710	1556
hired labor	354	234	304	325	554	447
imputed lab. cost	2143	2253	2249	1053	1156	1109
Other costs	777	595	700	798	507	641
agricultural tax	454	376	422	458	229	335
interest paid	4	1	3	164	149	156
Total costs	7451	6284	7022	5590	5231	5395
Total production(kg)	6587	4752	5817	6122	4722	5364
Average cost (dong/kg)	1131	1322	1207	913	1108	1006
Average selling price (dong/kg)	1911	1920	1915	1459	1253	1363
Gross Revenue (1000d)	12887	9408	11431	8929	5917	7308
Profit per ha (G. revunue-total cost)	5436	3124	4409	3339	686	1913
Income per ha (profit+ imputed labor cost)	7579	5377	6658	4392	1842	3022

出所: ヴィエトナム側資料による

表4-2 収量別に見たメコン・デルタにおける米生産費の構造
(h aあたり1000dong、冬-春作、1996年)

項目	5トン未満	5-6.5トン	6.5トン以上
物財費	3180	3400	3538
うち種子	493	545	550
肥料	1153	1346	1391
(肥料の比重 %)	23	24	23
水利費	432	356	370
固定資本償却費	54	36	54
労働費	1126	1429	1447
うち雇用	287	307	368
自家労働	839	1122	1079
その他費用	631	757	968
うち農業税	382	442	531
支払い利子	119	131	242
総費用	4937	5585	5953
生産量 (kg) / h a	4564	5985	7308
生産量あたり生産費 (dong/kg)	1082	933	815
平均販売価格 (dong/kg)	1600	1534	1244
1 h aあたり粗収入 (1000d)	7302	9181	9091
1 h aあたり収益 (粗収入-総費用)	2365	3596	3138
1 h aあたり所得 (収益+自家労働)	3204	4718	4217

出所：ヴィエトナム側資料による (Researcher's Data base)

注1) 調査は紅河デルタ地域における391戸の農家とメコンデルタ地域
における1004戸の農家を対象として実施されたものである。

注2) 労働費はヴィエトナム側の資料を組み替えて計算している。なお、
ここでの自家労働には交換労働を含む。

表5 食糧の供給と米輸出

Year	Food output rice equivalent 1000ton	Food per Capita kg/person	Production of rice 1000ton	Rice per capita kg/person	Volume of rice export 1000ton	Value of rice export million US\$	average export price US\$/ton
1990	21489	324	19225	290	1624	305	188
1991	21990	325	19622	291	1033	235	227
1992	24215	349	21590	311	1946	418	215
1993	25502	359	22837	314	1722	362	210
1994	26199	361	23582	324	1983	424	214
1995	27554	373	24927	336	2058	530	258
1996	29210	366	26397	349	3047	868	285
1997	30561	396	27646	358	3682	891	242
1998	31854	401	29142	367	3800	1100	289

出所：ヴィエトナム側資料による

注：1998年の数値は暫定値である

表6 小売価格と流通コスト (1998年)

小売価格 (もみ換算)	2357ドン/kg	100%
農家手取り	1750	74.2
流通・加工コスト	319	13.5
流通マージン	288	12.2

- 注1. データは Cantho 大学のメコンデルタ地域流通調査報告からとった。文献 [8] 参照。
 2. もみから精米への換算率は60%と仮定されている。
 3. 農家→集荷業者→精米業者→卸売業者→小売業者→消費者というルートを想定。

表7 メコンデルタにおける土地なし層及び土地不足層 (1994年)

Province	Landless Household		Land lacking Household		Total Household	
	the number of household	ratio %	the number of household	ratio %	the number of household	ratio %
1. Long An	769	0.48	10,214	6.38	10,983	6.86
2. Tien Giang	957	0.45	24,447	11.60	25,404	12.05
3. Ben Tre	570	0.30	26,859	14.37	27,429	14.67
4. Soc Trang	3,668	2.62	3,048	2.18	6,716	4.80
5. Vinh Long	442	0.34	9,153	7.05	9,595	7.39
6. Tra Vinh	770	0.67	4,789	4.19	5,559	4.86
7. Dong Thap	168	0.10	7,131	4.35	7,299	4.45
8. Can Toh	825	0.44	11,538	6.16	12,363	6.60
9. An Giang	1,721	1.14	7,201	4.75	8,922	5.89
10. Kien Giang	1,441	0.98	1,853	1.30	3,294	2.28
11. Bac Lieu	489	0.63	1,043	1.46	1,532	2.09
12. Ca Mau	457	0.50	750	0.78	1,207	1.28
Total	12,250	0.70	108,035	6.16	120,285	6.86

出所: Nha[3]

表8 メコンデルタにおける土地なし層及び土地不足層(1998年)

province	landless		land lacking		total	
	the number of household	ratio %	the number of household	ratio %	the number of household	ratio %
1. Long An	1,536	0.62	20,712	9.95	22,248	10.57
2. Tien Giang	2,393	0.88	8,778	3.24	11,171	4.12
3. Ben Tre	11,974	5.05	23,454	10.14	35,428	15.19
4. Soc Trang	9,900	6.58	20,802	13.83	30,702	20.41
5. Vinh Long	9,218	5.20	43,514	24.81	52,732	30.01
6. Tra Vinh	16,198	14.00	16,871	10.00	33,069	24.00
7. Dong Thap	15,516	7.16	12,163	5.60	27,679	12.76
8. Can Toh	16,147	5.00	22,155	10.40	38,302	15.40
9. An Giang	15,870	5.58	24,433	8.59	40,303	14.17
10. Kien Giang	9,376	5.59	3,759	2.65	13,135	8.24
11. Bac Lieu	14,086	13.33	5,611	5.30	19,697	18.63
12. Ca Mau	14,424	8.24	6,043	3.47	20,467	11.71
Total	136,338	5.69	208,322	8.71	344,660	14.40

出所：Nha[3]